

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名:

国語

科目名:

論理国語

1 単元名:

「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながる要旨を把握している。	学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

相手を意識して書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	学習の見通しをもって、相手に応じた適切な表現を意識しつつ、積極的に要約文を書くようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (0.5)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (1.5)	・文章の構成方法を理解する。 ・要約文を作成する。 ・一度作成した要約文を対象とする読み手が理解できるように考えて、改めて書く。	○	○ ○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認
3 (1)	・書き上げた文章をクラス内で読みあい、お互いにアドバイスをする。 ・アドバイスをもとに文章を書き直す。 ・単元の学習をワークシートで振り返る。	○	○	○	【知識・技能】 成果物の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 成果物の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

ネットワーク上のコミュニケーション

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。	「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

消費されるスポーツ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。	「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

仮説を立てて検証する

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。	学習の見通しをもって、主張と根拠の関係を吟味しつつ、積極的に仮説の検証をしようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 主張と根拠の関係を理解する。 教科書に記載の主張について、教科書に載っているグラフ以外にどのような資料があればいいかを考える。 	○	○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に載っているグラフから、他に主張できることを考える。 教科書のグラフ以外に主張の裏付けとなる資料を探し、主張を提示する文を作成する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 成果物の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

人を指す言葉

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。	「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	学習課題に沿って、具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

多数決を疑う

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。	学習課題に沿って、筆者の問題意識を把握しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○ ○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

対立した意見をふまえて書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。	「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	学習の見通しをもって、異なる立場の共通点や相違点を意識しながら、積極的に意見を書こうとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 教科書に記載の二つの意見について、共通点や相違点を分析し、対立を調整する方法を考える。 	○	○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 前の時間で扱った二つの意見について、分析したことをふまえて自分の考えを書く。 書いたものを共有する。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 成果物の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

言語と他者

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。	学習課題に沿って、引用を交えた論の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文を通読し、概要をつかむ。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を把握し、要点や要旨を読み取る。 ワークシートへの記入を通して、筆者の主張を読み取る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った筆者の主張を自分の言葉でまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

論理国語

1 単元名：

テーマの具体化・焦点化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。	「書くこと」において、個々の文の表現のしかたや段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	学習の見通しをもって、抽象度の違いに注意しつつ、粘り強く課題の具体化・焦点化を進めようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 思考ツールについて知る。 教科書記載のテーマについて、何が問題となっているのかやその問題が生じる理由について考える。 	○	○		【知識・技能】 ワークシートの記述の確認 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 前次で考えたことについて、さらに掘り下げて具体例等を考える。 ここまで考えてきたことをもとに、テーマについて論じることを決め、解決策を考えて書く。 単元の学習をワークシートで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 成果物の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの記述の確認

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

言葉と出会う

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文章の表記の決まりや正しい言葉の用い方を理解している。	「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。	文章の表記の決まりや正しい言葉の用い方を理解し、表現の仕方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見直しをもつ。 例題に取り組み、表記に関して注意するポイントを把握する。 練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 例題に取り組み、整った文章を書くためのポイントを把握する。 練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 例題に取り組み、相手や場面によってふさわしい言葉があることを把握し、細かいニュアンスまで考える。 練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
4 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 例題に取り組み、分かりやすい文を書くための要点を抑える。 練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
5 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 例題に取り組み、文を適切につなぐための接続表現を理解する。 練習問題に取り組み、学習した内容の定着度を確認する。 まとめの問題に取り組み、単元で学んだことを理解できているか確認する。 	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 伝える、伝え合う①

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉で伝えるために必要な「話す」「聞く」「伝え合う」ことの基礎的な力を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。	相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫するなど、言葉で伝えるための基礎的な力を身に付けようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・自己紹介を目的としたゲームに取り組み、相手に応じた話し方を身に付ける。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析
2 (2)	・イラストを見て、見ていない人に言葉で伝える活動を通して、説明する際の留意点を身に付ける。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 伝える、伝え合う②

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事実を伝えるために必要な5W1Hを意識して文章を書いている。	「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫している。	自分の考えを明確にし、5W1Hを意識し、根拠となる情報を基に的確に説明するなど、表現の仕方を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (5)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・「マイニュース」を書くための題材を見つけ、情報を5W1Hを意識してまとめる。 ・「マイニュース」を書き、推敲する。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「マイニュース」の記述の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・完成した「マイニュース」をグループ内で発表し、相互評価を実施することで反省点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

自己PRと面接

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の特長が効果的に伝わる文章構成を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。	自分の特長を効果的に伝えるための文章構成を考え、具体例を効果的に配置するなど、話の展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・自分の特長とそれを裏付ける経験を書き出す。 ・聞き手に強い印象を与えるための表現上の工夫を考える。 ・構成に注意して自己PR文を作成する。	○	○	○	【知識・技能】 自己PR文の分析 【思考・判断・表現】 自己PR文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・完成した「自己PR」を発表し、相互評価を実施することで反省点を明確にする。 ・進路活動にも活かせるように、自己PR文を修正する。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 活動の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 小論文①

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小論文とは何かを把握し、基本的な書き方を理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。	小論文とは何かを把握し、基本的な書き方を身に付け、伝えたいことを明確にした文章を書こうとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・例題を通して、感想文やレポートと小論文の違いを理解する。 ・小論文の基本的な構成を理解する。 ・テーマに沿って、小論文を書く。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 小論文の分析 【思考・判断・表現】 小論文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・グループ内で小論文を相互評価し、他者の助言を基に反省点をまとめる。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

国語表現

1 単元名：

プレゼンテーションの工夫

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報を効果的に伝えるための効果的なスライドの作り方を理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	情報を効果的に伝えるための効果的なスライドの作り方を理解し、発表する話題を決め、情報を収集、整理し工夫して伝えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・実例を見ながら見やすいスライドの特徴を理解する。 ・学校について中学生に発表することを想定し、必要な情報を収集する。 ・収集した情報を分かりやすくスライドにまとめる。	○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 スライドの分析 【思考・判断・表現】 スライドの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・クラスでの発表を通じて、自分の発表の反省点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 発表の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： レポートを書く

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
レポートに必要な要件と基本的な書き方を理解している。	「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	レポートに必要な要件と基本的な書き方を理解し、自分の考えが効果的に伝わるかなどを吟味して、文章全体を整えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (8)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見直しをもつ。				
2 (6)	・例題を通して、感想文や小論文とレポートの違いを理解する。 ・レポートの基本的な構成や要件を把握する。 ・レポート作成のためにアンケートを作成しする。 ・アンケート結果を基にレポートを作成する。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 レポートの分析 【思考・判断・表現】 アンケート、レポートの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内でレポートを相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 通信文を書き分ける

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
さまざまな通信文の書き方やマナーを理解している。	「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。	さまざまな通信文の書き方やマナーを理解し、自分の思いや考えが効果的に伝わるように吟味し、文章全体を整えようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (6)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (4)	・通信文の種類を理解し、目的に即して使い分ける。 ・通信文に適した言葉遣いを身に付ける。 ・頭語や結語、時候の挨拶といった文書作成時に必要な知識を身に付ける。 ・保護者に向けて便箋に手書きで手紙を作成する。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 手紙の分析 【思考・判断・表現】 手紙の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内で手紙を相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 電子メールを活用しよう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電子メールの特徴や送る際のマナーを理解している。	「書くこと」において、読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。	電子メールの特徴や送る際のマナーを理解し、読み手の同意が得られるよう文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (2)	・他のメディアと比較して電子メールのメリットとデメリットを考える。 ・電子メールを使用する上でのトラブル事例を基に使用する際の注意事項を考える。 ・電子メールを送る際のマナーを理解する。 ・条件を確認し、電子メールの文面を考え、実際に送信する。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 電子メールの分析 【思考・判断・表現】 電子メールの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (1)	・グループ内で電子メールを相互評価し、自分の改善点を明確にする。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： ビブリオバトルをしよう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」において、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	読書の意義や効用について理解を深めており、自分の主張の合理性が伝わるよう、適切な根拠を用い、話の構成や構成を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (5)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (2)	・本を決め、紹介の構成を練る。 ・聞き手を惹きつけるための工夫を考える。 ・リハーサルを行い、改善する。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 授業プリントの確認 【思考・判断・表現】 授業プリントの分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・クラスでの発表を聞き、自分の考えや評価を記入する。 ・他者の発表と自分の発表を比較し、改善点を確認する。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 発表の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名： 国語

科目名： 国語表現

1 単元名： 小論文②

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
統計資料の読み取り方とその情報のまとめ方を理解している。	「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫している。	統計資料の読み取り方とその情報のまとめ方を理解し、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や展開を工夫しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (6)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。				
2 (3)	・さまざまな資料の種類を知り、その特徴を理解する。 ・統計資料を読み取るにあたり、注目すべきポイントを把握する。 ・読みとった情報を基に小論文を作成する。	○ ○ ○	○	○	【知識・技能】 授業プリントの確認 小論文の分析 【思考・判断・表現】 小論文の分析 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
3 (2)	・グループ内で小論文を相互評価し、他者の助言を基に反省点をまとめる。		○	○	【思考・判断・表現】 授業プリントの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 授業プリントの記述の確認 「振り返りシート」の記述の分析

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『源氏物語』若紫

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	登場人物の心情を読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 源氏物語の概要を学ぶ。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 登場人物の関係性や、当時の文化について学習する。 本文中の文法事項を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○	○	○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、場面ごとの登場人物の心情を考える。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

『史記』四面楚歌

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	時系列を整理しながら内容を読み取り、項王の心情について理解を深めようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 これまでに学習した漢文文法について復習する。 作者や時代について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の場面に至るまでの背景について確認する。 本文を書き下し文に直す。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 本文中の漢詩について、押韻や詩の形式、内容を理解する。 	○	○	○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文を踏まえ、追い詰められた項王の心情がどのようなものだったかを考え、自分の言葉でワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名:

国語

科目名:

古典探究

1 単元名:

『大鏡』三舟の才

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	時代背景を踏まえながら内容を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 本文の出典や作者について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (5)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句の意味を覚える。 本文における時代、場所等の背景について確認する。 本文中の敬語表現を確認する。 本文を通読し、現代語に訳しながら内容を理解する。 	○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえ、道長と公任の人物像について考え、記述する。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

単元(題材)の指導と評価の計画 教科名：

国語

科目名：

古典探究

1 単元名：

不顧後患

2 単元の目標と評価規準

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品の内容や解釈を読み取るために、古典を読む上で必要な文語の決まりや訓読の決まり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	内容を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。

3 単元 (題材) の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 これまでに学習した漢文文法について復習する。 作者について確認する。 	○		○	【知識・技能】 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景を確認する。 本文を書き下し文に直す。 本文を通読し、現代語に訳しながら小孺子の主張を読み取る。 	○ ○ ○	○	○ ○	【知識・技能】 定期試験 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ポートフォリオの記述の確認
3 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 本文を踏まえて、呉王が小孺子の言葉からどのようなことを悟ったかを考え、自分の言葉でワークシートにまとめる。 単元の学習をワークシートやポートフォリオで振り返る。 		○	○ ○	【思考・判断・表現】 ワークシートの記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート・ポートフォリオの記述の確認

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 交通・通信

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて理解している。	社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界を結ぶ交通】 ・航空交通網が世界に与えた影響とその課題について理解する。また、水上交通や陸上交通が果たしてきた役割と、今後期待される姿について考察する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【日本の交通の特徴】 ・輸送手段や交通網の発達によって、社会や人々の生活が変化してきたことを理解する。加えて、交通公共機関の利便性の向上と問題点について考察する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【情報通信の発達】 ・情報化社会のこれからの展望と、情報格差から生じる諸問題を捉える。		○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

観光

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について理解している。	日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや、観光の特徴や利点、課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【余暇の拡大と観光産業】 ・国際観光が活発になった背景には、情報通信技術（ICT）の発達、交通機関の発達による時間距離の短縮があることを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【日本の観光とその変化】 ・日本の観光産業の変化と外国人観光客の誘致の取り組みを理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

貿易と経済圏

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。	拡大を続けている世界の貿易では、地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	貿易と経済圏について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の貿易と地域間格差】 ・国際分業の意味と成立について理解するとともに、各国の貿易の実態を考察する。また、貿易の地域間格差を理解するとともに、今後の課題について考察する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【貿易の自由化と経済連携】 ・自由貿易体制の意味とGATTの果たした役割について、歴史的背景を踏まえて理解する。自由貿易を促進するために、世界の国々は新たな結びつきを形成していることを理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
3 (1)	【日本の貿易】 ・日本の貿易の現状と課題を、貿易構造の変化という視点から考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

人口

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて理解している。	②増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	人口について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の人口】 ・人口分布の地域差について、自然環境や社会・経済の形態などの地域性から理解する。 また、世界人口の推移とその課題、人口構成と人口転換の社会的・経済的背景を理解する。	○	○		〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現
2 (1)	【人口の移動】 ・国際的な人口移動の経緯と、その背景について理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 人口問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。	社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や、先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	人口問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【世界の人口問題】</p> <p>(1) 出生率に関わる問題 ・先進国や発展途上国における、出生率の高低の違いについて、社会情勢や文化などのさまざまな背景から理解する。</p> <p>(2) 高齢化に関わる問題 ・高齢化がもたらすさまざまな問題や課題について、具体的な国や地域の事例をもとに、その対策について理解する。</p>	○			<p>[知識・技能]</p> <p>・ワークシートへの記入内容</p>
2 (1)	<p>【日本の人口問題】</p> <p>・ここ100年間における人口動態の変化や、人口分布の地域間格差、急速な高齢化と少子化、それに伴う労働力不足への対策について理解する。</p>		○	○	<p>[思考・判断・表現]</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>・振り返りシートへの記入内容</p>

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

村落と都市

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について理解している。	村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について、多面的・多角的に考察し、表現している。	村落と都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【集落の成り立ち】 ・集落の発展過程において、自然条件よりも社会条件が強く影響するようになったことと、農業主体の村落と商業主体の都市に分化したことを確認し、変化の要因を考察する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【村落の形態と機能】 ・集落と散村に関して、それぞれの村落形態の特徴と成立の背景を把握する。また、それぞれの村落形態のもつ機能を理解する。	○		○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容
3 (1)	【都市の成立と形態・機能】 ・都市が成立する背景や発達するための条件を理解する。また、都市はさまざまな機能を備えており、特定の機能に特化した都市もあることを理解する。	○		○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容
4 (1)	【都市圏の拡大と都市の構造】 ・都市圏および都市の内部構造について、中心市街地の商圏などの具体例をもとに考察する。また、大都市の発達および機能の一極集中の現状を理解する。		○		[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 都市・居住問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。	世界の都市が持続的に発展していくための課題、日本の都市の課題と解決するための取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【発展途上国の都市・居住問題】 ・発展途上国では、条件のよい職を求めて多くの人々が都市に流入し、都市問題の背景になっていることを理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【先進国の都市・居住問題】 ・先進国では、工業発展に伴う環境問題や、インナーシティ問題が発生していることを、ロンドンの事例などを通して理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【日本の都市・居住問題】 ・日本の三大都市圏における、人口集中に伴う諸課題を確認し、その解決策を考察する。日本の都市問題の解決策を、都心部の再開発や、郊外のニュータウン建設の具体例を通して理解する。		○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 衣食住

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。	自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり、世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	衣食住について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (2)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の衣服と食生活】 ・地域の文化の意味を理解する。世界における衣服や食生活の特徴と多様性、地域的差異については、自然環境や宗教などの影響が大きいことを理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【世界の居住と衣食住の画一化】 ・生活文化の差異は、経済発展の度合いによって生じること、また画一化が進んでいることを理解する。日本の衣食住のお特徴や変化を、世界との関わりのなかで理解する。	○	○	○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 民族・宗教と民族問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて理解している。	世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性、各地にみられる民族問題の背景との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	民族・宗教と民族問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【世界の民族・言語】 ・民族と国家の関係や、民族と言語の関係、国語や公用語をめぐる問題を理解する。先住民および少数民族について、それぞれの特徴や発生している諸問題を理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【世界の宗教】 ・宗教の意義と人々の生活との関係、世界の主要な宗教の分布と特徴を理解する。宗教による日常生活や政治・社会制度への影響、世界各地への広がりについて、具体的事例から理解する。	○			[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【さまざまな民族問題】 ・民族対立だけでなく、諸外国の思惑が事態をさらに複雑にし、民族問題を解決困難な状況に追い込んでいる側面を理解する。	○	○		[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現
4 (1)	【多文化の共生に向けた取り組み】 ・多文化主義政策を導入した国を確認し、民族共生のためのさまざまな制度やその現状を理解する。ほかの民族との共生のためには、コミュニケーションと相互理解が重要であることを理解する。	○		○	[知識・技能] ・ワークシートへの記入内容 [主体的に学習に取り組む態度] ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 国家の領域と領土問題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。	国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること、領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	国家の領域と領土問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【現代世界と国家】 ・国家の三要素、国境の種類や意義を確認し、現代世界における国家の意義や役割を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
2 (1)	【領土問題と解決への取り組み】 ・国境にはさまざまな形態があることに気づき、その意味を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【日本の領域と領土をめぐる問題】 ・日本における、領域と領土をめぐる問題を取り上げ、その原因や現状を理解する。	○	○	○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 中国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (6)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【中国の自然環境】 ・中国の地形と気候について、沿海部と内陸部など地域による特色の差異を考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【中国の政治体制と多様な民族】 ・中国が市場経済を導入した背景と、経済発展の状況を理解する。14億の人口を抱える多民族国家であることと、そのなかでの少数民族の現状、および人口問題と今後の課題を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【中国の食生活と農業・水産業】 ・中国の農業の地域的な特色と食文化の多様性を関連づけて理解する。経済改革以降の中国における農業および水産業の変化を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【中国の工業化と海外進出】 ・対外開放政策以降の中国における工業発展の要因と影響、および近年の海外進出について考察する。中国の経済発展による生活の変化について理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
5 (1)	【経済発展に伴うさまざまな課題】 ・内陸部から沿海部への人口移動とその背景、および経済格差に伴う課題と取り組みについて理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名： 地理歴史

科目名： 地理探究

1 単元名： 韓国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【韓国が位置する朝鮮半島の自然環境】 ・朝鮮半島の自然環境について、日本との類似点と相違点について注目して考察する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【韓国の歴史と生活文化】 ・朝鮮半島の文化の特徴と、日本への文化的影響について理解する。朝鮮半島の歴史の概略を確認し、南北分裂の現状について理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【産業の発展と生活の変化】 ・高度経済成長を経験した韓国の農業の変化と工業の特徴を理解する。急速な経済成長による都市化と、それに伴う人々の生活の変化を理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

ASEAN諸国

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。	古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。	ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【ASEAN諸国の自然環境】 ・東南アジアの地形は大陸部と島嶼部とで異なること、気候は季節風（モンスーン）の影響を大きく受けることを理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【ASEAN諸国の歴史と文化・民族】 ・歴史的な背景から、東南アジア地域にはさまざまな宗教、習慣、文化が伝播し、重層的な文化や複雑な民族構成が生まれたことを理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【ASEAN諸国の農業とその変化】 ・東南アジアの農業の特色を、自然環境との関係から考察する。東南アジアの自給的農業である稲作と、企業的農業であるプランテーションについて、その特色と変化を理解する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【ASEAN諸国の工業とその発展】 ・ASEANの結成と発展の歴史を理解する。輸出志向型の工業化を進めたASEAN諸国の工業の特徴をとらえ、それらの国々の現在の経済状況や課題を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
5 (1)	【ASEANの変化と課題】 ・ASEAN域内において、工業化が進んでいる国と進んでいない国との間には大きな経済格差があること、重層的な地域協力が進められていることを理解する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

インド

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。	近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【インドが位置する南アジアの自然環境】 ・インドとその周辺の自然環境について、山脈や平野の位置、河川の流れや季節風（モンスーン）の影響などに注目して理解する。	○		○	〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容
2 (1)	【急速な経済成長を支えた産業の発展】 ・インドの工業の発展を、経済の自由化という側面から考察する。近年、インドのICT産業が成長している背景を考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
3 (1)	【増加する人口と農村の変化】 ・インドにおける経済成長と人口増加を抑制するための取り組みを理解する。インドの自然環境と農業との関連を理解し、農業の近代化や食文化の変化が進行していることなどを考察する。	○			〔知識・技能〕 ・ワークシートへの記入内容
4 (1)	【インド社会の変化と経済格差の拡大】 ・ヒンドゥー教の伝統や慣習に基づいた、インドの伝統的な生活文化に生じている変化について、経済成長の側面から考察する。		○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・振り返りシートへの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理探究

1 単元名：

第2章 資源と産業

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(23)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	【農林水産業】 農林水産業が、自然条件や社会条件により分布や発達にどのような傾向や規則性があるかを理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題
2 (2)	【食料問題】 食料の分配と、世界全体での偏りや飽食や飢餓について、地域を理解しその原因について理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題
3 (4)	【エネルギー・鉱産資源】 資源の分布や消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題
4 (2)	【資源・エネルギー問題】 化石燃料への依存度を減らし、再生可能エネルギーの普及を進めていくことは、地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障上、重要であることを理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題
5 (6)	【工業】 工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約化の進む工業の新しい展開や、日本の工業の変化と課題について理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題
6 (3)	【第3次産業】 第三次産業の特徴や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信業の集積、医療・福祉産業の国による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現、課題 [知識・技能] ・定期考査、課題 [主体的に学習に取り組む態度] ・授業態度、授業参加、課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理総合

1 単元名：

地球的課題と国際協力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p>	<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【世界各地の地球的課題】</p> <p>・世界各地の地球的課題と、その背景、課題の解決に向けた国際的な取組や日本の役割を学ぶことに対して、関心をもつ。</p>				
2 (7)	<p>【地球環境問題】</p> <p>・地球環境問題が起きている位置や分布、原因などを調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>【資源・エネルギー問題】</p> <p>・資源・エネルギー問題についての問いを設定し、各自で考察したことをまとめる。</p> <p>【人口問題】</p> <p>・世界各地で見られる人口問題について理解する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現（レポートの記述内容）</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの記述内容</p>
3 (3)	<p>【食料問題】</p> <p>・世界の抱える食料問題とその要因を考察しワークシートに表現する。</p> <p>・食料問題の解決のために、各国あるいは国際的に行われている取組について、グループ内でテーマを設定し、考察する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
4 (4)	<p>【居住・都市問題】</p> <p>・世界各地で見られる居住・都市問題について理解し、居住・都市問題の要因や解決の方向性などを考察する。</p> <p>【民族問題】</p> <p>・民族問題・難民問題の現状や要因、解決の方向性について考察する。</p>	○	○		<p>・ワークシートへの記述内容</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
5 (2)	<p>【持続可能な社会の実現をめざして】</p> <p>・地球的課題と国際協力についての学習を振り返り、ワークシートに表現する。</p>	○		○	<p>・単元を見通して学び、振り返るワークシートへの記述内容</p>

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

日本文化のあけぼの

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	自然環境と人間生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。	旧石器・縄文・弥生の各時代において、どのような遺跡があるのか主体的に調べるとともに、中国の歴史書を通して弥生時代に中国や朝鮮とどのような交流があったのか理解を進めている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【人類の誕生】 氷河時代に大陸から渡ってきた大型動物と旧石器人の特徴について学習する。 【旧石器文化】 打製石器の特徴と旧石器人の移動生活について学習する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	【縄文文化】 弓矢などの新しい技術を修得し、縄文文化が成立したことを学習する。 【縄文人の生活】 定住生活の始まりと縄文時代の交易、信仰と風習について学習する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (3)	【弥生文化】 水稲耕作の開始や金属器の使用などを特徴とする弥生文化が成立したことを学習する。 【弥生人の生活】 水稲農耕の技術や弥生時代の墓制、身分制社会への変化について学習する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (3)	【小国の分立】 中国の歴史書や国内の遺物から、小国の分立について学習する。 【邪馬台国連合】 「魏志」倭人伝や関連する遺跡から、邪馬台国よる政治的連合体について学習する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

古墳とヤマト政権

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古墳文化の展開、ヤマト政権の形成と飛鳥の朝廷の政治と文化などを基に、古代の政治・社会と文化の特色を理解している。	南北朝時代や隋などの中国王朝・朝鮮との関係と政治や文化への影響などに着目して、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈などを根拠を示して表現している。	各地の古墳などの考古資料や飛鳥文化の遺産を主体的に調べるとともに、中国や朝鮮との交流を中国・朝鮮や日本の史料を通して理解を進めている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【古墳の出現とヤマト政権】 箸墓古墳など古墳の出現とヤマト政権の誕生について学習する。 【古墳文化】 前期・中期・後期古墳の特徴について学習する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
2 (3)	【ヤマト政権と東アジア】 好太王碑文と『宋書』倭国伝から、ヤマト政権の東アジアとの交流について学習する。 【大陸文化の伝来】 渡来人の来日と儒教や仏教の伝来について学習する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
3 (2)	【古墳時代の人びとの生活】 豪族の居館や須恵器の特徴、古墳時代の祭祀と風習について学習する。 【ヤマト政権の政治組織と古墳の終末】 氏姓制度と磐井の乱、終末期古墳の状況について学習する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
4 (2)	【東アジア情勢の変化とヤマト政権】 朝鮮半島でのヤマト政権の後退と隋の建国、推古天皇即位後の政治改革、隋との交流について学習する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
4 (2)	【飛鳥文化】 7世紀前半を中心に、中国大陸・朝鮮半島との交流により展開した飛鳥文化について学習する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

貴族政治の展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
藤原北家の発展過程や地方支配の変化を資料から読み取り、摂関政治を理解している。吸収してきた中国文化をふまえて国風文化が形成されたことを理解している。浄土信仰が広まった背景について、当時の人びとの心のありようを読み取る技能を身につけている。武士団の仕組みや武士の反乱、成長などに着目して、律令体制や地方社会の変容を理解している。	地方支配の変化に着目し、摂関政治の特質とその後の展開について考察し、根拠を示して表現している。国風文化の形成について、かなの成立などが、後の日本文化におよぼした影響について考察し、表現している。土地制度の変化について、史料を読み取りながら考察し、根拠を示して表現している。	東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察し、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。摂関時代の政治の在り方と文化との関係を考察している。国司や地方支配の在り方の変化、武士の出現を明らかにしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【摂関政治】 ・9～10世紀にかけての藤原北家の勢力拡大や、律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質について考察する。 ・東アジアの変動が、日本の対外関係に与えた影響を考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	【国風文化】 ・国風文化の成立について、東アジア社会の変動と関連させて考察するとともに、国風文化が日本の伝統文化に与えた影響について考察する。 ・浄土信仰という仏教の新しい動きについて、その社会的な背景とともに考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (3)	【荘園の発達と武士団の成長】 ・寄進地系荘園の成立など土地制度が変化したことについて考察する。 ・棟梁を中心とした大武士団が成立していく過程や、次第に政治的な力を持つようになったことについて考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

院政と武士の進出

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>貴族政治や土地支配の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。院政期における武士の影響力の拡大や平氏政権の展開、文化が庶民や地方に広まったことなどについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武家政権の成立について理解している。</p>	<p>武士が台頭する契機や、この時代の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(5) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【院政の始まり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。 ・院政がどのように成立し、展開したのか、古代から中世への歴史の転換と関連づけて考察する。 	○	○	○	<p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの表現 <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表
2 (3)	<p>【院政と平氏政権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院の信任を得て台頭した平氏が、保元・平治の乱を通じて勢力を拡大し、政権を獲得した過程を理解し、その政権基盤や特色などについて考察する。 ・院政期に、どのような文化が形成され、広まったかについて考察する。 	○	○	○	<p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの表現 <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

武家政権の成立

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
源平の争乱から執権政治確立までの歴史過程、封建制度の成立、鎌倉幕府と朝廷による二元的支配の構造、執権政治の特質、御家人の特質について理解している。モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。	幕府と朝廷の二元的支配構造の特色を、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。鎌倉時代の農業・商工業の発達による社会の変動や御家人の窮乏について多面的・多角的に考察し、表現している。宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流と文化への影響を多面的・多角的に考察し、表現している。	鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成、公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。武家政権成立期の宗教や文化にみられる特色を、平安時代と比較しながら主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	①平氏の滅亡、鎌倉幕府成立の経過や幕府の支配機構、将軍と御家人との主従関係、公武的二元支配構造などについて理解する。 ②北条氏の台頭から、執権政治を確立していく過程について理解する。 ③地頭・荘官として荘園・公領の支配をしつつ、戦時には一族を率いて戦った御家人の生活と御家人による地域支配について土地制度の仕組みを踏まえ考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	①モンゴル襲来（元寇）の国際的な背景と、それに対する幕府や朝廷の対応を理解する。 ②モンゴル襲来後の御家人の窮乏と、徳政令発布などの幕府の対応、御家人の反発による幕府政治の動揺を考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	①武家政権成立期の文化の特色を、国際関係を踏まえて考察する。 ②時代の要請にこたえた新しい仏教の成立や、それに刺激を受けた旧仏教の改革の動きなど宗教界の動向を踏まえ、時代の変化に対応した新しい傾向がみられるようになったことを理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

武家社会の成長

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開などについて、情報を収集して理解している。諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、庶民が台頭し自治の村が成立したことを理解している。室町時代における多様な文化の形成や融合について、諸資料から読み取る技能を身につけている。戦国大名の領国統治の特徴を理解している。	南北朝の動乱と日本列島の地域社会の変質や、東アジアの変化とその影響について、考察し、表現している。一揆が形成され広まった背景や一揆の構造について、考察し、表現している。室町文化と東アジアとの交流を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。	武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、この時期の政治や社会の特質を見出そうとしている。室町時代に成立した村の自治について課題を設定し、主体的に追究しようとしている。室町文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	①鎌倉幕府の滅亡や建武の新政、新政に対する武士や民衆の反発について考察する。 ②建武の新政が崩壊し、南北朝の動乱を経て室町幕府の成立と体制について理解する。 ③東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	①農民が自治組織を形成し、土一揆へと発展するなかで、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	①公家や武家、庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、室町期の文化的な特色について考察する。 ②室町時代の時期ごとの芸術・宗教の特色や、それらが庶民や地方へ広がっていったことを考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	①戦国大名や、自治的に都市を運営した人びとの活動について、諸地域の地理的条件などに関連づけて考察する。 ②琉球の文化の形成と地理的特性を理解し、琉球王国の成立と繁栄の国際的な背景を考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近世の幕開け

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。	織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を多面的・多角的に追究しようとしている。桃山文化の特徴について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	①銀の交易や鉄砲とキリスト教の伝来を、大航海時代の展開に関連させて世界史的視野で考察し、中世から近世への時代の転換を理解する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握し、織豊政権の特色と意義、その後の影響について理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	①豊臣政権の村落や都市の支配、対外政策から、中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 ②新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、さまざまな文化財をもとに時代的背景を踏まえて考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

幕藩体制の成立と展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成を理解している。寛永期の文化が成立したことについて、読み取る技能を身につけている。文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について理解している。産業の発達と交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達について理解している。17世紀の文化の特徴などについて、読み取る技能を身につけている。	幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて考察し、表現している。人びとの生活や意識がどのように変化したのかを考察し、表現している。交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達を考察している。近世前期における文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。	幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究している。江戸幕府の鎖国政策について、主体的に追究している。幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策を主体的に追究している。近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相を明らかにしている。上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	①江戸幕府が法や制度の整備の下で、幕藩体制を確立したことについて理解する。 ②幕藩体制の確立期の社会を、多面的・多角的に考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (2)	①幕府がキリスト教禁教と「鎖国」政策を展開した要因について考察し、「鎖国」体制下の四つの窓口を通じた対外関係を理解する。 ②寛永期の文化を、幕藩体制成立の時代背景を踏まえて理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	①江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
4 (2)	①新田開発や農業技術の進歩により、農業生産がめざましく発達したことを考察する。 ②流通網が発達した様子や、近世の金融制度の特徴を理解し、商業の発展と大都市の形成について考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
5 (1)	①上方の豪商を中心に町人文化が形成されたことを理解する。 ②儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

幕藩体制の動揺

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解している。幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。	米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。近世後半の文化の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。	幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。近世後期に形成された文化について、学問・教育・出版文化や庶民文化の事例を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	①幕府の財政が悪化するなかで実施された享保の改革や田沼意次の諸政策とその影響を考察する。 ②宝暦・天明期の学問・思想、庶民を担い手とした新たな文学や美術などについて、社会の変容や幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
2 (3)	①寛政の改革に乗り出した松平定信の諸政策について、飢饉や一揆の発生を踏まえ考察する。 ②ロシア、イギリスなどの列強の接近に対し、「鎖国」体制維持のために幕府がおこなった諸政策について考察する。 ③国際情勢の変化と影響に着目し、幕府権力がおこなった天保の改革と、藩政改革に成功した雄藩の改革について考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表
3 (2)	①化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ②身近な地域にある記念碑の調査を事例に、地域の歴史や文化について考察する。	○	○	○	〔思考・判断・表現〕 ・ワークシートへの表現 〔知識・技能〕 ・定期考査 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近世から近代へ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。日本がどのような契機によって近代の国家・社会へと向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。	日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	①対外政策の変容と開国に至る動き及び締結された条約の不平等性について考察する。 ②貿易の実態とその影響による経済の混乱について考察する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
2 (3)	①討幕運動と尊王攘夷、江戸幕府滅亡、新政府の発足に至る過程を理解し、どのような国家が構想されたか考察する。 ②近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

日本史探究

1 単元名：

近代国家の成立

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。	諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。国内体制を欧米の水準に合わせることを改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。	明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	①明治維新の諸政策、特に廃藩置県・地租改正・富国強兵・殖産興業政策を通して、日本の近代化の特徴について考察する。 ②欧米の文化・思想の導入や近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 ③明治初期の外交政策から、対欧米外交と、対朝鮮・清外交の違いについて考察する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表
2 (4)	①自由民権運動を通じて民衆意識も近代化していったこと、また運動の変容や地域社会の変化について考察する。 ②大日本帝国憲法制定の意義や憲法の性格を、多角的に考察する。 ③資料調査の体験を通して、歴史資料と主体的に向きあい、文化財を守り伝えることの意義を考察する。	○	○	○	[思考・判断・表現] ・ワークシートへの表現 [知識・技能] ・定期考査 [主体的に学習に取り組む態度] ・生徒の発表

指導と評価の計画

教科名： 国語 科目名： 現代の国語

1 単元名： 高校生の読書量を増やすための提案書を書こう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	① 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ② 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	提案書を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、伝えたいことを明確にし、文章の構成や展開を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 単元の指導と評価の計画 (8)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 提示された例文を基に情報と情報との関係について考える。				
2 (3)	・ 提案する相手や、提案に必要な情報を収集する。 ・ 内容、構成などをプレゼンテーションソフトのスライド機能を用いて入れ替えながら整理する。 ・ スライドで整理した構成案を基に、提案書を作成する。	○	○		【知識・技能】 「構成スライド」の記述の確認 【思考・判断・表現】① 「提案書」の記述の確認
3 (3)	・ 提案書を生徒間で読み合い、相互評価を行う。 ・ 相互評価シートを基に、提案書を書き直す。		○		【思考・判断・表現】② 「提案書」及び「相互評価シート」の記述の分析
4 (1)	・ 書き直した提案書をクラス全体で共有する。 ・ 振り返りシートにより単元の学習を振り返る。 ・ 振り返りシートを基に、単元の学習で得た気づきをグループや全体で共有する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

学習のまとめごとによりまとめて示してください。
また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理総合

1 単元名：

地球的課題と国際協力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p>	<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【世界各地の地球的課題】</p> <p>・世界各地の地球的課題と、その背景、課題の解決に向けた国際的な取組や日本の役割を学ぶことに対して、関心をもつ。</p>				
2 (7)	<p>【地球環境問題】</p> <p>・地球環境問題が起きている位置や分布、原因などを調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>【資源・エネルギー問題】</p> <p>・資源・エネルギー問題についての問いを設定し、各自で考察したことをまとめる。</p> <p>【人口問題】</p> <p>・世界各地で見られる人口問題について理解する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現（レポートの記述内容）</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの記述内容</p>
3 (3)	<p>【食料問題】</p> <p>・世界の抱える食料問題とその要因を考察しワークシートに表現する。</p> <p>・食料問題の解決のために、各国あるいは国際的に行われている取組について、グループ内でテーマを設定し、考察する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
4 (4)	<p>【居住・都市問題】</p> <p>・世界各地で見られる居住・都市問題について理解し、居住・都市問題の要因や解決の方向性などを考察する。</p> <p>【民族問題】</p> <p>・民族問題・難民問題の現状や要因、解決の方向性について考察する。</p>	○	○		<p>・ワークシートへの記述内容</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
5 (2)	<p>【持続可能な社会の実現をめざして】</p> <p>・地球的課題と国際協力についての学習を振り返り、ワークシートに表現する。</p>	○		○	<p>・単元を見通して学び、振り返るワークシートへの記述内容</p>

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 公共

1 単元名： 法的な主体となる私たち（公共A）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	法や規範の意義及び役割について、よりよい現代社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	法とは何かについて理解するとともに、望ましい法の在り方について学習する。				
2 (2)	精神の自由、身体の自由、経済活動の自由について理解するとともに、犯罪に因る処罰や公共の福祉により自由が制限されることもあることについて学習する。				
3 (3)	法の下での平等について理解するとともに、望ましい平等の在り方について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
4 (4)	社会権や新しい人権（環境権、プライバシーの権利、自己決定権）等、20世紀以降に登場した人権について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
5 (5)	司法制度について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
6 (6)	契約と法、消費者の権利と責任について学習する。	○			【知識・技能】 ワークシートの確認
7 (7)	本単元で学んできたことを生かし【単元を貫く問い】について自らの考えを論述する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

二次関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</p> <p>②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p>	<p>①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察している。</p> <p>②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしている。</p>	<p>①事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②二次関数やそのグラフの性質を活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(31)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>○関数</p> <p>・関数の定義や関数の式 $y=f(x)$ の意味を理解し、2つの数量の関係を表、式、グラフなどを用いて考察できるようにする。</p>				
2 (9)	<p>○二次関数のグラフ</p> <p>・関数 $y=ax^2$ のグラフを平行移動させることによって様々な二次関数のグラフをかく。</p> <p>○二次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ</p> <p>・式の変形によって二次関数のグラフをかくとともに多面的に考察する。</p> <p>○二次関数の決定</p> <p>・振り返りシートに分かったことや疑問など踏まえて、今後の学習の進め方の見通しを考える。</p>	○	○	○	<p>・成果物</p> <p>・単元テスト</p> <p>・振り返りシート</p>
3 (7)	<p>○二次関数の最大・最小</p> <p>○定義域に制限がある場合の二次関数の最大・最小</p> <p>・定義域に制限がある場合の二次関数の最大値、最小値を求める。</p> <p>・最大・最小に関する身近な問題を二次関数の問題として捉え、考察する。</p>	○	○		<p>・成果物</p> <p>・ワークシート</p> <p>・単元テスト</p>
4 (11)	<p>○二次方程式</p> <p>○二次関数のグラフとx軸との共有点</p> <p>・ $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点と $ax^2+bx+c=0$ の解の関係について考察する。</p> <p>○二次不等式とその解</p> <p>○数学的活動</p> <p>・身近な問題を関数の問題として捉え、二次関数を活用して解決する。</p>		○		<p>・成果物</p> <p>・ワークシート</p> <p>・単元テスト</p>
5 (2)	<p>・単元テストに取り組む。</p> <p>・振り返りシートに分かったことや疑問、問題の解決に有効であった方法などを記述する。</p>	○	○	○	<p>・単元テスト</p> <p>・振り返りシート</p>

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見だして表現している。	波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(13) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○波の現象 ・身の回りにある波の現象を観察し、波の伝わり方及び波の要素について理解する。				
2 (3)	○波の表し方 ・水平に張ったつるまきばねの一端を振動させる実験を行い、波の表し方について理解する。				
3 (3)	○重ね合わせの原理 ・波の重ね合わせ、波の反射、定在波を扱い、波形の観察及び作図を通して、波の基本的な性質を理解する。	○			・「ワークシート」の記述 ・「行動観察」
4 (2)	○音の性質 ・身の回りの音を扱い、音の要素について、波の要素と関連付けて理解し、音の性質と波の要素を関連付けて表現する。		○		・「ワークシート」の記述
5 (2)	○弦の振動 ・弦の固有振動を扱い、これまでに学習した内容と関連付けて課題を解決しようとする。			○	・「ワークシート」の記述
6 (2)	○気柱の共鳴 ・気柱の共鳴に関する実験を扱い、これまでに学習した内容と関連付けて、実験の結果を考察し、表現する。		○		・「ワークシート」の記述

指導と評価の計画

教科名： 保健体育 科目名： 体育

1 単元名： ネット型：バレーボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>④競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。</p> <p>④変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。</p> <p>⑦ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。</p> <p>⑩相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</p>	<p>①課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。</p> <p>⑦体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>④一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。</p> <p>⑥危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>

「体育」には、学びに向かう力、人間性等の指導内容を踏まえ

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください

※単元の評価規準の丸数字は、全ての単元の評価規準にて振った番号通りのため、数字が順番になっていません。

3 単元の指導と評価の計画 (20)時間扱い ○「記録に残す評価」

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0	本時の説明、グループごとの準備運動、補強運動など									
10	レシーブ練習	<学びなおし> サーブ、レシーブ、トコ			③サーブ	③レシーブ	③トコ	グループ練習 課題発見、課題解決①		
20		試みのゲーム (実態把握)			ミニゲーム① 「バレーボールの縦ハーフコートでのゲーム」			ミニゲーム② 「課題解決に向けたゲーム」		
30		健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標								
40	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
知・技	知	①○		①●						
知・技	技		②○	①○	④○	⑦○	(⑧●○)	①●	4●	
思・判・表								①○		①●
主観的態度	③○							②○		①●
時間	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
0	本時の説明、グループごとの準備運動、補強運動など									
10	ゲーム① リーグ戦		守備練習 攻撃に応じた守備位置の移動		グループ練習 課題発見、課題解決①			まとめのゲーム 互換のコート審判団も組み実施する		
20	「みんなで楽しめるルールを設定したゲーム」		ミニゲーム② 「練習ゲームのコピイアを組むゲーム」		ゲーム② リーグ戦 フォームの練習の対戦形式で実施し、練習試合として実施するゲーム					
30	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
40	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
観点	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
知・技	知				④○					
知・技	技		③○	(⑧○)			③●			
思・判・表	⑦○	⑦●								
主観的態度	(⑧○)	④○				④●		⑤●		
総合的評価										

学習のまとめりにとまどめて示してください。Excelで直接作成しても構いません。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 保健体育 科目名： 保健

1 単元名： 応急手当

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷害者の苦痛を緩和したりすること、また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② 日常生活で起こる傷病や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。</p> <p>③ 心肺停止状態においては、速やかな気道確保、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p>	<p>① 応急手当について、課題を発見し、その解決を目指し、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法を話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>① 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

	時間	1	2	③	4
		応急手当の意義	日常的な応急手当 (実習)	心肺蘇生法 (実習)	心肺蘇生法 (実習)
学習の流れ (学習目標)	0	健康観察・前時の振り返り・本時の目標			
	10	<課題> 応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、苦痛を緩和したりする	<実習> 止血・固定等の応急手当の方法	<実習> AEDの使用と心肺蘇生法の手順の確認	<実習> AEDの使用と心肺蘇生法の手順の確認
	20				
	30				
	40	<ワークシート> 悪化防止の方法	<ワークシート> 安全な社会生活についてのグループワーク		<グループワーク> 実習の振り返り
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標				
指導・評価	観点	1	2	3	4
	知・技	①◎	②◎	③◎	④◎
	思・判・表		①◎		
主観的表現	①○			①●	

○：指導日 ●：評価日 ◎：指導日+評価日

学習のまとめごとにまとめて示してください。「保健」については、他教科と同様の形式で単元計画を作成することも可能です。作成しやすい形式で作成してください。ここでは「体育」と同様の形式で作成しています。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 芸術（音楽） 科目名： 音楽 I

日本の伝統的なお囃子（祭囃子）を体験しよう！
 A表現（2）器楽
 [共通事項]（1）音色、リズム、旋律、強弱、速度

[共通事項]
 指導に当たっては様々な要素が関連し合
 って音楽が形づくられていることに十分留

1 題材名：

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【知識・器楽イ(イ)】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け器楽で表している。 【技能・器楽ウ(イ)】	音色やリズム、旋律、強弱、速度を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	和楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりや、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。

題材の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。
 ②で作成した目標の文末を「～している

3 題材の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	技	思	態	評価方法
1 (1)	・1学期に篠笛で演奏した「神田丸」や、唱歌について復習する。 ・お囃子（祭囃子）の概要や様々な地域の祭囃子について学習する。 ・和太鼓やチャンチキ等の日本の打楽器に触れ、どのような音が出るのかを実際に体験する。 ・「神田丸」の旋律とともに一定のリズムで和太鼓等を演奏し、お囃子の合奏を行う。					
2 (1)	・3～5名程度のグループを編成し、「神田丸」を一部活用したオリジナルの祭囃子を作成するための楽器編成、役割分担、目的や手順の確認を行う。 ・和太鼓等の打楽器の基本的な奏法について学習する。					
3 (1)	・四拍子のリズムパターンを練習し、オリジナルの祭囃子で使用するリズムを決定する。					
4 (1)	・篠笛の特殊奏法や、創作で使用する音階について学習する。 ・四拍子の旋律パターンを練習し、決定したリズムにのせる旋律を新たに作る。	知 ○		○		ワークシート（知・思）
5 (2)	・前時までに創作したリズムと旋律を組み合わせるグループごとに合奏練習を行う。 ・中間発表を行う。 ・曲に相応しい速度、音色、強弱等について話し合い、工夫した点についてワークシートにまとめ、演奏で表現する。			○		ワークシート（思）
6 (1)	・オリジナルの祭囃子をグループごとに発表する。 ・他のグループの演奏を聴き、表現の違いや共通点など感じ取ったことをワークシートに記入する。		技 ○		○	演奏（技） ワークシート（態）

1～3時間目は、観察やワークシートなどから、「指導に生かす評価」を積み重ねていきます。

学習のまとめりごとにまとめて示してください。
 また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評価するのかを○で示します。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわか

指導と評価の計画

教科名： 芸術（美術） 科目名： 美術 I

1 題材名： 毎日使いたいスプーン（木彫によるカトラリーデザイン）
 2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 形や材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技 意図に応じて木材や彫刻刀などの材料や道具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に見通しをもって創造的に表している。	発 誰が使うのか、何を食べるのかという目的や条件、美しさなどから主題を生成し、デザインが持つ機能や効果、木彫の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 鑑 カトラリーの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	態表 主体的に使う人や食べるものの特徴に合わせた目的や機能などを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。 態鑑 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、作者のデザインの意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

知など、□でくられているが、【】に統一してよいか

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 題材の指導と評価の計画 (15)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【鑑賞①】 ・日常で使用しているスプーンを鑑賞する。 ・鑑賞したことから感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ・グループで気付いたことなどを意見交換する。 ・題材の目標や作業の手順などを確認し、制作の見通しを持つ。		○鑑	○態鑑	・ワークシート ・発言の内容 ・活動の様子
2 (4)	【発想や構想】 ・自身の考えやグループでの意見交換で得た新たな視点などから主題を生成する。 ・生成した主題を基に構想し、アイデアスケッチを描いて工作用紙で試作する。 ・デザインの意図や方向性、試作を中間発表する。 ・中間発表でのアドバイスなどをもとに最終デザインを決定する。		○発		・ワークシート ・アイデアスケッチ ・発言の内容
3 (8)	【制作】 ・決定したデザインを基に図面を描く。 ・図面を木材に描き写し、木材や道具の特性を生かして、スプーンを彫り、磨く。	○技		○態表	・制作途中の作品 ・活動の様子 ・ワークシート
4 (2)	【鑑賞②】 ・完成した作品を相互鑑賞する。全体に向けて作品のプレゼンテーションを行い、感想カードの交換を行う。			○態鑑	・ワークシート ・発言の内容
	<授業外：題材の終了後> ※完成作品や記録を確認し、必要に応じて評価を修正する。	○知技	○発鑑		・ワークシート ・アイデアスケッチ ・完成作品 ・活動の様子の記録

学習のまとめごとにまとめて示してください。また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評価するのかを○で示します。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 芸術（工芸）

科目名： 工芸 I

1 題材名： 私だけの紋を染める（糊置きによる手ぬぐい型染め）

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知】 形や色彩、素材、光等の性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>【技】 染色の制作方法を踏まえ、意図に応じて染料などの材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>【発】 自然や素材、自己の思いなどから独創的な文様を心豊かに発想するとともに、手ぬぐいの用途と文様の美しさの調和を考え、日本の伝統的な染色の表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 身近な生活の視点に立って染物のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と染色の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【態表】 主体的に身近な生活の視点に立って、自然や素材、自己の思いなどから生活を心豊かに演出する表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 主体的に身近な生活の視点に立って作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と染色の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

3 題材の指導と評価の計画 (16)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【鑑賞①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な染物の作品や伝統文様、家紋などを鑑賞する。 鑑賞したことから感じたことや、考えたことをワークシートにまとめる。 グループで気付いたことなどを意見交換する。 題材の目標や作業の手順などを確認し、制作の見通しを持つ。 		○鑑	○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> 発言の内容 ワークシート 活動の様子
2 (4)	<p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や自身の趣味などから、手ぬぐいに染め抜くオリジナルの紋をデザインし、アイデアスケッチをする。 紋のデザインをグループで共有して、意見交換する。 用の美を考えながら紋の大きさや配置、染めの濃淡などの構想を練る。 		○発	↓	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイデアスケッチ 発言の内容
3 (8)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> 型紙を制作する。 型を用いて糊置きし、乾かす。 染液に浸けて染め、媒染し、乾燥させる。 	○技		○態表	<ul style="list-style-type: none"> 制作途中の作品 活動の様子 ワークシート
4 (2)	<p>【鑑賞②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成した作品を相互鑑賞する。 			○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発言の内容
	<p><授業外：題材の終了後></p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅にてぬぐいを洗濯後、実際に使用し、使い心地や使った際の気持ちなどをレポートにまとめる。 	○知技	○発鑑		<ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイデアスケッチ 完成作品 活動の様子の記録 レポート

1 単元名：

漢字仮名交じりの書の制作 ～蘭亭序の書風を生かして～

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【A 表現】</p> <p>①蘭亭序や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>②意図に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>③線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解している。</p>	<p>【A 表現】</p> <p>①漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>②作品の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。</p>	<p>【A 表現】</p> <p>①自身の表現の意図に基づく表現、蘭亭序の書風を生かした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>②書よさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>○ 校歌の指定部分のうち、どれを作品化するか決める。</p> <p>○ 紙のサイズを決める。</p> <p>○ 草稿を作成する。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 草稿作品 ワークシート
2 (2)	<p>○ 実際のサイズの紙に制作する。</p> <p>○ 班別に批評会を行う。</p> <p>○ 批評会を受けて、どうしていくかを作品に記入し、更に作品を制作する。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 途中経過の作品 I ワークシート
3 (2)	<p>○ 返却された作品のコメントを読みながら、更に作品を制作する。</p> <p>○ 班別に批評会を行う。</p> <p>○ 批評会を受けて、考えた工夫を作品に記入し、更に作品を制作する。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 途中経過の作品 II ワークシート
4 (2)	<p>○ 返却された作品のコメントを読みながら、更に作品を制作し、清書を制作する。</p> <p>○ 互いに別の班員の作品を鑑賞する。</p> <p>○ この課題全体を通して振り返る。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 清書作品 ワークシート

外国語「指導と評価の計画」の様式は別途あり

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭基礎

1 単元名：

子供の生活と保育

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・単元の目標を確認し、単元を貫く課題に対する学習前の考えを記入する。 【子供の世界を知る】 ・子供のものごとの感じ方を理解し、子供との適切な関わり方を考える。				
2	【子供の発達】 ・乳幼児の心身の発達の特徴について理解する。	○			・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
3	【子供の生活】 ・子供の遊びの重要性や生活習慣の形成、健康管理、安全管理について理解する。	○			・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
4	【子供の権利と福祉】 ・子供の権利と福祉、国や地域での支援について理解し、子供にとって適切な保育環境とはどのようなものか考える。	○	○		・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
5	【単元のまとめ】 これまでの学習を踏まえて、【単元を貫く課題】に対する自分の考えと自己評価をワークシートに記入する。		○	○	・ワークシート

1 単元名：

情報社会の問題解決

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ②情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ③情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	①目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ②情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考察している。 ③情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	①情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 ②情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○情報社会における問題 ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・情報社会の問題についてまとめ、発表する。				
2 (3)	○問題の定義と問題解決の進め方 ・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見し、問題の明確化を行う。 ・アイデアを生み出す方法、アイデアをまとめる方法について、実際に体験しながら学ぶ。				
3 (3)	【実習】<現在の情報システム> ・スマートフォン等、身近な題材を取り上げ、問題や情報モラルについて科学的に捉え、解決策を考える。 ・図解による解決策、数値による解決策について、体験する。		○		【態】①② 【思】①② 発表(及びその周辺情報)の分析
4 (3)	○グラフと情報リテラシー ○情報技術の進展に伴う人間の生活や社会への影響 ○これからの情報社会		○	○	【思】①② 【態】③ 発表(及びその周辺情報)の分析 【知】③ ワークシート
5 (2)	○単元のまとめ ・地域に向けたSNS講座を企画・提案する。		○	○	【態】①②③ 【思】①②③ 発表(及びその周辺情報)の分析



指導と評価の計画

教科名： 理数（共通教科）

科目名： 理数探究基礎

1 単元名： 探 究 活 動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①観察、実験、調査等についての基本的な技能を身に付けている。 ②探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能を身に付けている。	①数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせるなどして課題を設定するための基礎的な力を身に付けている。 ②探究した結果をまとめ、適切に表現している。	①様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【課題の設定】</p> <p>◆課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な事象等から数量として捉えられるものを見いだす。 標本を抽出し統計的に処理するなどして傾向や特徴を見いだす。 数学や理科などに関する検証可能な課題を設定する。 		○		思① ワークシートの記述を分析し、課題を設定するための基礎的な力を身に付けているか見取る。
2 (3)	<p>【課題解決の過程】 【分析・考察・推論】</p> <p>◆調査結果の処理と考察・推論</p> <ul style="list-style-type: none"> データの整理を行い、結果を分析する。 結果の妥当性を検討し、先行研究や理論等も考慮し、考察・推論する。 	○			知① 観察・実験・調査についての基本的な技能が身に付いているか探究ノートの記述から見取る。
3 (2)	<p>【表現・伝達】</p> <p>◆報告書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書として必要な要素を盛り込みながら作成する。 <p>◆探究の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究の過程を振り返り、次の探究の過程へのイメージをもつ。 	○	○	○	知② 探究した結果を報告書としてまとめるために必要な技能が身に付いているか。 思② 他者に伝えるべき内容について、データの整理と処理を行うなどして適切に表現しているか。 主① 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、次の探究の過程へのイメージをもつことができたか。

指導と評価の計画

教科名：

農業

科目名：

農業と環境

1 単元名：

農業と環境を学ぶ

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(ア) 農業学習の特質や、農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 (イ) 学校農業クラブ活動の組織と内容及び活動の方法について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	(ア) 農業と環境に関する課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 (イ) 学校農業クラブ活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	(ア) 農業と環境について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 (イ) 学校農業クラブ活動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○農業学習とは何か ・農業と環境とのかかわりについて	○			・小テスト ・ワークシート
2 (3)	○農業と環境の学び方 ・農業学習の方法をグループで話合う ・農業学習におけるプロジェクト学習	○	○	○	・ワークシート ・活動観察
3 (3)	○学校農業クラブ活動	○	○	○	・定期考査 ・ワークシート ・活動観察

※単元の設定は、学習指導要領上の「指導項目」を複数組み合わせる構成となることも考えられます。(各校の実状にあわせて設定して下さい。)複数組み合わせの場合、目標(評価規準)も複数となりますが、1つの文章としてまとめることも可能です。

指導と評価の計画

教科名：

工業（電気）

科目名：

電気回路

1 単元名：

三相交流

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
三相交流について電流、電圧とそれら電氣的諸量の相互関係と量的に取扱う方法や電氣的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	三相交流の電流、電圧及び相互関係に着目して、三相交流の結線方法に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。	三相交流について自ら学び、電流、電圧、及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【学習の見通しを持つ】 ・単元の目標の確認 ・学習活動流れを理解する ・三相交流回路の基礎事項を理解する				
2 (1)	【三相交流の発生と表し方を理解する】 ・波形図やベクトル図を作図	○	○		・ワークシート ・成果物
3 (1)	【三相交流回路の電圧と電流の利点について説明する】 ・電氣的諸量を読み取る。 ・グループワークを通じて三相交流回路の特長について考え、表現する。		○	○	・ワークシート ・活動観察
4 (1)	【これまで学習の振り返り】 ・課題解決の方法について考える。			○	・ワークシート ・授業観察
5 (5)	【Y-Y回路、Y-Δ回路、Δ-Δ回路、Δ-Y回路について線間電圧と相電圧、線電流と相電流の関係】 ・電流値、電圧値及び抵抗値などを計算する。 【負荷のインピーダンス交換について】 ・インピーダンスの値を計算する。	○		○	・ワークシート ・活動観察
6 (1)	【単元の学習を振り返る】 ・グループワーク等により三相交流回路の考え方について理解を深める。			○	・活動観察

指導と評価の計画

教科名：

商業

科目名：

ビジネス基礎

1 単元名：

企業の形態と組織

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業の形態と組織について経済社会における事例と関連付けて理解している。	企業の形態と組織に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案している。	企業の形態と組織について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【社会における企業の役割にはどのようなものがあるか。】 ○企業の役割や起業家精神、ビジネスの創造について	○			・ワークシート ・小テスト
2 (2)	【企業の経営や組織での課題について、どのような改善方法があるか。】 ○企業の経営理念や企業倫理をインターネットで調べ、考察する。		○		・ワークシート
3 (3)	【企業が持続可能な成長をするために必要なことはどのようなことか。】 ○ある企業の競争戦略を調べ、グループで話し合う。			○	・ワークシート ・活動観察

指導と評価の計画

教科名：

水産

科目名：

海洋情報技術

1 単元名：

水産や海洋における情報技術の応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について、基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。	海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【水産業や海洋関連産業と情報技術の関わりについて理解を深め、その課題について考察する。】	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 自ら調べ、理解した内容をまとめる。 定期考査 基礎的な知識を理解している。 ワークシート 水産海洋への影響を考察し、分かりやすく表現している。 定期考査 自ら考察した内容をまとめることができる。 ワークシート グループワーク等とおして、他者の考えを整理し、協働的に学ぼうとしている。
2 (4)	【情報セキュリティと情報モラルについて理解を深め、その課題について考察する。】	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 自ら調べ、理解した内容をまとめる。 定期考査 基礎的な知識を理解している。 ワークシート 情報に関連した身近なトラブルについて考察し、分かりやすく表現している。 ワークシート 単元の学びを振り返り、学習状況を把握するとともに、自らの学習の進め方について考えようとしている。

指導と評価の計画

教科名：

看護

科目名：

基礎看護

1 単元名：

看護における倫理

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知識】看護の職業倫理に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 ※本単元の特性上、「知識」のみ記載する</p>	<p>看護の本質に関わる課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだしている。</p>	<p>看護の本質を深く理解するために自ら学び、人々の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【看護の職業倫理とは？】 ○看護の職業倫理に関する基礎的・基本的な知識を理解する。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 活動観察
2 (2)	<p>【看護実践場面での倫理的課題とはどんなことか？】 ○倫理的ジレンマについて、分析し、考察する。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
3 (2)	<p>【「看護における倫理の原則」「看護者の倫理綱領」を活用して事例の倫理的ジレンマを考察する。】 ○事例から「患者・家族にとって良い看護とは」をグループで話し合い、発表する。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動観察 ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

福祉

科目名：

社会福祉基礎

1 単元名：

社会福祉の理念と意義

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【少子高齢化と人口減少社会の到来】 ○少子高齢社会と人口減少社会について理解を深め、その課題について考察する。	○	○		・ワークシート ・定期考査
2 (1)	【地域社会の変化】 ○都市問題や過疎化、市町村合併について理解し、地域の課題について考察する。	○			・ワークシート ・定期考査
3 (2)	【生活の変化】 ○家族の多様化及び女性の職場進出について理解を深め、関連するサービスについて考察する。	○	○	○	・ワークシート ・定期考査

指導と評価の計画

特別活動

1 内容のまとめり： ホームルーム活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

2 内容のまとめりの評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<p>①社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。</p> <p>②現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。</p>	<p>①現在の自己の学習に関する課題、及び将来の在り方や生き方や進路についての課題を見いだしている。</p> <p>②主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。</p>	<p>①将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返ろうとしている。</p> <p>②働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて、現在及び将来の生活を改善しようとしている。</p>

3 内容のまとめりにおける指導と評価の計画

題材（あるいは議題）	主な学習活動
「よりよい高校生活を送るために」	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」を活用して、中学校3年間を客観的に振り返り、高校3年間で身に付けたい力と具体的な目標を明確にする。 ・話し合いを通して考えた目標について、グループで共有し、今年1年間の目標を決める。 ・「キャリア・パスポート」を活用して、定期的に自分自身の活動及び取組を客観的に振り返り、整理する。 ・「キャリア・パスポート」を活用して、今年1年間の活動及び取組について客観的に振り返って共有し、自己の良さや課題を見いだす。

「総合的な探究の時間」は、
「総合的な探究の時間」指導計画を使用する

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

第一次世界大戦と諸地域の変容

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(7)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【第一次世界大戦】 ・総力戦体制が列強および植民地に与えた影響について考える。 ・ソヴィエト連邦はどのようにして成立したのか理解する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
2 (2)	【ヴェルサイユ体制と国際協調】 ・国際連盟の成立と国際協調の機運の高まりについて、ヨーロッパ諸国を相互に比較しながら、その経緯を考える。 ・第一次世界大戦後にはどのような国際体制が構築されたのか理解する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (2)	【アジアのナショナリズムの台頭】 ・アジアのナショナリズムの台頭に、イギリス・フランス・日本などの政策はそれぞれどのような影響を及ぼしたのか考察する。 ・インド独立運動におけるヒンドゥーとイスラームの関係について、ガンディーの思想を踏まえながら理解する。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

第二次世界大戦と戦後の国際秩序

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。	世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察している。	戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(15)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	【世界恐慌とファシズム】 ・アメリカ・イギリス・ドイツの世界恐慌への対応について、相互に共通点と相違点を意識しながら理解する。 ・ナチ党が台頭し人々の支持を得た理由について、多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (2)	【満洲事変日中戦争】 ・日本が中国にどのように進出しようとしたのか、満洲事変から日中戦争に至る過程を理解する。 ・中国・日本・国際連盟のそれぞれの立場から、どのようにすれば日中戦争の勃発を防ぐことができたかを歴史的事実を根拠にしながら推論し、主体的に追究する。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (6)	【第二次世界大戦】 ・第二次世界大戦はどのように勃発し、どう展開したのか、またアジアの戦争とどう結びついたのか理解する。 ・日本の朝鮮・台湾の統治政策について、多面的・多角的に考察する。 ・連合国側が第二次世界大戦に勝利できた要因を複数挙げ、その中から重要な要因について主体的に追究する。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
4 (4)	【戦後の変革と冷戦のはじまり】 ・国際連盟と国際連合の違いについて、意志決定機関や武力制裁の有無などの観点を理解する。 ・冷戦がはじまった経緯を理解するとともに、それがヨーロッパ・アジア各地にどのような影響を与えたのかを考える。 ・朝鮮戦争がその後の世界史にどのような意義をもったか、冷戦構造の変化や朝鮮半島情勢の経過をふまえて主体的に追究する。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

冷戦と現代世界

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に，紛争解決の取組と課題を理解している。	国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。	紛争解決の取組と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 単元の指導と評価の計画

(20)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (9)	【冷戦下の安全保障体制】 ・1970年代までの冷戦における「緊張と緩和」のそれぞれの事例について，具体的に考える。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (6)	【脱植民地化と非同盟】 ・戦後独裁体制がみられたアジア・アフリカ・ラテンアメリカの国を挙げ，独裁の特徴およびそれがうまれた理由について，主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (5)	【冷戦の終結と現代世界】 ・アメリカ，ソ連，第三世界の政策の共通点と相違点を分析し，それらを多面的・多角的に考察し，表現している。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

世界経済の展開

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解している。	国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	より平和で公正な社会の実現を目指し、主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

3 単元の指導と評価の計画

(20)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	【冷戦と経済統合】 ・冷戦体制下においてどのような経済協力体制が築かれたのかについて理解している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (5)	【第三世界の経済】 ・第二次世界大戦後のアジア・アフリカ諸国がおかれた経済的状況について理解している。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (5)	【産業構造と社会の変化】 ・経済活動を優先した結果としての環境破壊に対する疑義が、どのように現在の社会の価値観を変え、現在に至るのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○	【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
4 (5)	【グローバル化と新自由主義の時代】 ・新自由主義政策によって進行した経済格差を解決するための試みの例を複数挙げ、その効果について検証したうえで、最も重要だと考える事柄について主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

古代文明

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。</p>	<p>古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜が人類に与えた意義などを考察し，表現している。</p>	<p>古代文明の歴史的特質について，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界各地の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【農耕と牧畜のはじまり】 ・農耕・牧畜の開始から国家の成立までの過程で，最も重要と考えられる変化は何か，主体的に追究しようとしている。</p>		○	○	<p>【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題</p>
2 (2)	<p>【オリエント文明】 ・古代オリエントには，どのような特徴をもった文明が生まれたのか，また諸民族の侵入や移動は，オリエントの歴史にどのような変化をもたらしたのか理解している。</p>	○		○	<p>【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題</p>
3 (1)	<p>【インダス文明】 ・のちのインドの文明に影響を与えたものは何か，主体的に追究しようとしている。</p>	○		○	<p>【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題</p>
4 (1)	<p>【中国文明】 ・古代中国の王朝がどのような特徴をもっていたかについて考察し，表現している。</p>	○	○		<p>【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題</p>

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

東アジアと中央ユーラシア

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秦・漢と遊牧国家，唐と近隣諸国の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。	東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，農耕民と遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを考察し，表現している。	古代中華帝国から生まれた文化のうち、のちの時代に影響を与えたと思われるものは何か，自身の生活や経験とも関連付けて，主体的に追究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	【春秋・戦国時代の変動】 ・春秋・戦国時代におこった社会・経済的な変化について多面的・多角的に考察し，表現している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (3)	【中国古代帝国と東アジア】 ・大陸と日本とのつながりについて理解している。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (3)	【中央ユーラシアの国家形成】 ・中央ユーラシアの諸民族が中国の歴史に与えた影響について，主体的に追究しようとしている。	○	○	○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

世界史探究

1 単元名：

西アジアと地中海周辺

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。	西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。	西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【オリエントの統一】 ・アケメネスの支配の特徴について、アッシリアとの違いも踏まえながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題
2 (6)	【ギリシア文明】 ・アテネの直接民主政は、現代の民主政と比べてどのような違いがあるか、またその違いを生み出した理由は何か、主体的に追究しようとしている。	○		○	【知識・技能】 小テスト、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題
3 (4)	【ローマ帝国】 ・ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのか理解している。	○	○		【知識・技能】 小テスト、定期考査 【思考・判断・表現】 提出課題

指導と評価の計画

教科名： 国語 科目名： 現代の国語

1 単元名： 高校生の読書量を増やすための提案書を書こう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	① 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ② 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	提案書を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、伝えたいことを明確にし、文章の構成や展開を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 単元の指導と評価の計画 (8)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・ 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 提示された例文を基に情報と情報との関係について考える。				
2 (3)	・ 提案する相手や、提案に必要な情報を収集する。 ・ 内容、構成などをプレゼンテーションソフトのスライド機能を用いて入れ替えながら整理する。 ・ スライドで整理した構成案を基に、提案書を作成する。	○	○		【知識・技能】 「構成スライド」の記述の確認 【思考・判断・表現】① 「提案書」の記述の確認
3 (3)	・ 提案書を生徒間で読み合い、相互評価を行う。 ・ 相互評価シートを基に、提案書を書き直す。		○		【思考・判断・表現】② 「提案書」及び「相互評価シート」の記述の分析
4 (1)	・ 書き直した提案書をクラス全体で共有する。 ・ 振り返りシートにより単元の学習を振り返る。 ・ 振り返りシートを基に、単元の学習で得た気づきをグループや全体で共有する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

学習のまとめごとによりまとめて示してください。
また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理総合

1 単元名：

地球的課題と国際協力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p>	<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【世界各地の地球的課題】</p> <p>・世界各地の地球的課題と、その背景、課題の解決に向けた国際的な取組や日本の役割を学ぶことに対して、関心をもつ。</p>				
2 (7)	<p>【地球環境問題】</p> <p>・地球環境問題が起きている位置や分布、原因などを調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>【資源・エネルギー問題】</p> <p>・資源・エネルギー問題についての問いを設定し、各自で考察したことをまとめる。</p> <p>【人口問題】</p> <p>・世界各地で見られる人口問題について理解する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現（レポートの記述内容）</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの記述内容</p>
3 (3)	<p>【食料問題】</p> <p>・世界の抱える食料問題とその要因を考察しワークシートに表現する。</p> <p>・食料問題の解決のために、各国あるいは国際的に行われている取組について、グループ内でテーマを設定し、考察する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
4 (4)	<p>【居住・都市問題】</p> <p>・世界各地で見られる居住・都市問題について理解し、居住・都市問題の要因や解決の方向性などを考察する。</p> <p>【民族問題】</p> <p>・民族問題・難民問題の現状や要因、解決の方向性について考察する。</p>	○	○		<p>・ワークシートへの記述内容</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
5 (2)	<p>【持続可能な社会の実現をめざして】</p> <p>・地球的課題と国際協力についての学習を振り返り、ワークシートに表現する。</p>	○		○	<p>・単元を見通して学び、振り返るワークシートへの記述内容</p>

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 公共

1 単元名： 法的な主体となる私たち（公共A）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	法や規範の意義及び役割について、よりよい現代社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	法とは何かについて理解するとともに、望ましい法の在り方について学習する。				
2 (2)	精神の自由、身体の自由、経済活動の自由について理解するとともに、犯罪に因る処罰や公共の福祉により自由が制限されることもあることについて学習する。				
3 (3)	法の下での平等について理解するとともに、望ましい平等の在り方について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
4 (4)	社会権や新しい人権（環境権、プライバシーの権利、自己決定権）等、20世紀以降に登場した人権について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
5 (5)	司法制度について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
6 (6)	契約と法、消費者の権利と責任について学習する。	○			【知識・技能】 ワークシートの確認
7 (7)	本単元で学んできたことを生かし【単元を貫く問い】について自らの考えを論述する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

二次関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</p> <p>②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p>	<p>①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察している。</p> <p>②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしている。</p>	<p>①事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②二次関数やそのグラフの性質を活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(31)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>○関数</p> <p>・関数の定義や関数の式 $y=f(x)$ の意味を理解し、2つの数量の関係を表、式、グラフなどを用いて考察できるようにする。</p>				
2 (9)	<p>○二次関数のグラフ</p> <p>・関数 $y=ax^2$ のグラフを平行移動させることによって様々な二次関数のグラフをかく。</p> <p>○二次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ</p> <p>・式の変形によって二次関数のグラフをかくとともに多面的に考察する。</p> <p>○二次関数の決定</p> <p>・振り返りシートに分かったことや疑問など踏まえて、今後の学習の進め方の見通しを考える。</p>	○	○	○	<p>・成果物</p> <p>・単元テスト</p> <p>・振り返りシート</p>
3 (7)	<p>○二次関数の最大・最小</p> <p>○定義域に制限がある場合の二次関数の最大・最小</p> <p>・定義域に制限がある場合の二次関数の最大値、最小値を求める。</p> <p>・最大・最小に関する身近な問題を二次関数の問題として捉え、考察する。</p>	○	○		<p>・成果物</p> <p>・ワークシート</p> <p>・単元テスト</p>
4 (11)	<p>○二次方程式</p> <p>○二次関数のグラフとx軸との共有点</p> <p>・ $y=ax^2+bx+c$ のグラフとx軸との共有点と $ax^2+bx+c=0$ の解の関係について考察する。</p> <p>○二次不等式とその解</p> <p>○数学的活動</p> <p>・身近な問題を関数の問題として捉え、二次関数を活用して解決する。</p>		○		<p>・成果物</p> <p>・ワークシート</p> <p>・単元テスト</p>
5 (2)	<p>・単元テストに取り組む。</p> <p>・振り返りシートに分かったことや疑問、問題の解決に有効であった方法などを記述する。</p>	○	○	○	<p>・単元テスト</p> <p>・振り返りシート</p>

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見だして表現している。	波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(13) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○波の現象 ・身の回りにある波の現象を観察し、波の伝わり方及び波の要素について理解する。				
2 (3)	○波の表し方 ・水平に張ったつるまきばねの一端を振動させる実験を行い、波の表し方について理解する。				
3 (3)	○重ね合わせの原理 ・波の重ね合わせ、波の反射、定在波を扱い、波形の観察及び作図を通して、波の基本的な性質を理解する。	○			・「ワークシート」の記述 ・「行動観察」
4 (2)	○音の性質 ・身の回りの音を扱い、音の要素について、波の要素と関連付けて理解し、音の性質と波の要素を関連付けて表現する。		○		・「ワークシート」の記述
5 (2)	○弦の振動 ・弦の固有振動を扱い、これまでに学習した内容と関連付けて課題を解決しようとする。			○	・「ワークシート」の記述
6 (2)	○気柱の共鳴 ・気柱の共鳴に関する実験を扱い、これまでに学習した内容と関連付けて、実験の結果を考察し、表現する。		○		・「ワークシート」の記述

指導と評価の計画

教科名： 保健体育 科目名： 体育

1 単元名： ネット型：バレーボール

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>④競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①サーブでは、ボールに変化をつけて打つことができる。</p> <p>④変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすることができる。</p> <p>⑦ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。</p> <p>⑩相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</p>	<p>①課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。</p> <p>⑦体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。</p> <p>④一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。</p> <p>⑥危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>

「体育」には、学びに向かう力、人間性等の指導内容を踏まえ

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください

※単元の評価規準の丸数字は、全ての単元の評価規準にて振った番号通りのため、数字が順番になっていません。

3 単元の指導と評価の計画 (20)時間扱い ○「記録に残す評価」

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
0	本時の説明、グループごとの準備運動、補強運動など										
10	レシーブ練習	<学びなおし> サーブ、レシーブ、トコ			③サーブ	③レシーブ	③トコ	グループ練習 課題発見、課題解決①			
20		試しのゲーム (実態把握)			ミニゲーム① 「バレーボールの縦ハーフコートでのゲーム」			ミニゲーム② 「課題解決に向けたゲーム」			
30		健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標									
40	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標										
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標										
観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
知・技	知	①○		①●							
知・技	技		②○	①○	④○	⑦○	(⑧●○)	①●	4●		
思・判・表								①○		①●	
主観的態度	⑤○							②○		①●	
時間	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
0	本時の説明、グループごとの準備運動、補強運動など										
10	ゲーム① リーグ戦 「みんなで楽しめるルールを設定したゲーム」		守備練習 攻撃に応じた守備位置の移動		グループ練習 課題発見、課題解決①			まとめのゲーム 互換のコート審判団も組み実施する			
20	ゲーム① リーグ戦 「みんなで楽しめるルールを設定したゲーム」		守備練習 攻撃に応じた守備位置の移動		グループ練習 課題発見、課題解決①			まとめのゲーム 互換のコート審判団も組み実施する			
30	ゲーム① リーグ戦 「みんなで楽しめるルールを設定したゲーム」		守備練習 攻撃に応じた守備位置の移動		グループ練習 課題発見、課題解決①			まとめのゲーム 互換のコート審判団も組み実施する			
40	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標										
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標										
観点	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
知・技	知				④○						
知・技	技		①○	(②○)			①●				
思・判・表	⑦○	⑦●									
主観的態度	(⑧○)	④○				④●		⑤●			
総合的評価											

学習のまとめりにごとくまとめて示してください。Excelで直接作成しても構いません。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 保健体育 科目名： 保健

1 単元名： 応急手当

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷害者の苦痛を緩和したりすること、また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>② 日常生活で起こる傷病や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。</p> <p>③ 心肺停止状態においては、速やかな気道確保、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p>	<p>① 応急手当について、課題を発見し、その解決を目指し、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法を話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p>	<p>① 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

	時間	1	2	③	4
		応急手当の意義	日常的な応急手当 (実習)	心肺蘇生法 (実習)	心肺蘇生法 (実習)
学習の流れ (学習目標)	0	健康観察・前時の振り返り・本時の目標			
	10	<課題> 応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、苦痛を緩和したりする	<実習> 止血・固定等の応急手当の方法	<実習> AEDの使用と心肺蘇生法の手順の確認	<実習> AEDの使用と心肺蘇生法の手順の確認
	20				
	30				
	40	<ワークシート> 悪化防止の方法	<ワークシート> 安全な社会生活についてのグループワーク		<グループワーク> 実習の振り返り
50	健康観察・整理運動・本時の振り返り・次時の目標				
指導・評価	観点	1	2	3	4
	知・技	①◎	②◎	③◎	④◎
	思・判・表		①◎		
	主体的態度	①○			①●

○：指導日 ●：評価日 ◎：指導日+評価日

学習のまとめごとにまとめて示してください。「保健」については、他教科と同様の形式で単元計画を作成することも可能です。作成しやすい形式で作成してください。ここでは「体育」と同様の形式で作成しています。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 芸術（音楽） 科目名： 音楽 I

日本の伝統的なお囃子（祭囃子）を体験しよう！
A表現（2）器楽
[共通事項]（1）音色、リズム、旋律、強弱、速度

[共通事項]
指導に当たっては様々な要素が関連し合
って音楽が形づくられていることに十分留

1 題材名：

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【知識・器楽イ(イ)】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け器楽で表している。 【技能・器楽ウ(イ)】	音色やリズム、旋律、強弱、速度を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	和楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりや、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。

題材の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。
②で作成した目標の文末を「～している

3 題材の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	技	思	態	評価方法
1 (1)	・1学期に篠笛で演奏した「神田丸」や、唱歌について復習する。 ・お囃子（祭囃子）の概要や様々な地域の祭囃子について学習する。 ・和太鼓やチャンチキ等の日本の打楽器に触れ、どのような音が出るのかを実際に体験する。 ・「神田丸」の旋律とともに一定のリズムで和太鼓等を演奏し、お囃子の合奏を行う。					
2 (1)	・3～5名程度のグループを編成し、「神田丸」を一部活用したオリジナルの祭囃子を創作するための楽器編成、役割分担、目的や手順の確認を行う。 ・和太鼓等の打楽器の基本的な奏法について学習する。					
3 (1)	・四拍子のリズムパターンを練習し、オリジナルの祭囃子で使用するリズムを決定する。					
4 (1)	・篠笛の特殊奏法や、創作で使用する音階について学習する。 ・四拍子の旋律パターンを練習し、決定したリズムにのせる旋律を新たに作る。	知 ○		○		ワークシート（知・思）
5 (2)	・前時までに創作したリズムと旋律を組み合わせるグループごとに合奏練習を行う。 ・中間発表を行う。 ・曲に相応しい速度、音色、強弱等について話し合い、工夫した点についてワークシートにまとめ、演奏で表現する。			○		ワークシート（思）
6 (1)	・オリジナルの祭囃子をグループごとに発表する。 ・他のグループの演奏を聴き、表現の違いや共通点など感じ取ったことをワークシートに記入する。		技 ○		○	演奏（技） ワークシート（態）

1～3時間目は、観察やワークシートなどから、「指導に生かす評価」を積み重ねていきます。

学習のまとめりごとにまとめて示してください。
また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評価するのかを○で示します。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわか

指導と評価の計画

教科名：

芸術（美術）

科目名：

美術 I

1 題材名：

毎日使いたいスプーン（木彫によるカトラリーデザイン）

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>技 意図に応じて木材や彫刻刀などの材料や道具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 誰が使うのか、何を食べるのかという目的や条件、美しさなどから主題を生成し、デザインが持つ機能や効果、木彫の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 カトラリーの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 主体的に使う人や食べるものの特徴に合わせた目的や機能などを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、作者のデザインの意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

知など、□でくられているが、【】に統一してよいか

単元の目標が実現されている姿を観点毎に作成してください。

3 題材の指導と評価の計画

(15)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【鑑賞①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常で使用しているスプーンを鑑賞する。 ・鑑賞したことから感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ・グループで気付いたことなどを意見交換する。 ・題材の目標や作業の手順などを確認し、制作の見通しを持つ。 		○鑑	○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言の内容 ・活動の様子
2 (4)	<p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の考えやグループでの意見交換で得た新たな視点などから主題を生成する。 ・生成した主題を基に構想し、アイデアスケッチを描いて工作用紙で試作する。 ・デザインの意図や方向性、試作を中間発表する。 ・中間発表でのアドバイスなどをもとに最終デザインを決定する。 		○発		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・発言の内容
3 (8)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定したデザインを基に図面を描く。 ・図面を木材に描き写し、木材や道具の特性を生かして、スプーンを彫り、磨く。 	○技		○態表	<ul style="list-style-type: none"> ・制作途中の作品 ・活動の様子 ・ワークシート
4 (2)	<p>【鑑賞②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を相互鑑賞する。全体に向けて作品のプレゼンテーションを行い、感想カードの交換を行う。 			○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言の内容
	<p><授業外：題材の終了後></p> <p>※完成作品や記録を確認し、必要に応じて評価を修正する。</p>	○知技	○発鑑		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・完成作品 ・活動の様子の記録

学習のまとめごとにまとめて示してください。また、小単元については、主な学習活動を簡単に示すとともに、どの観点で評価するのかを○で示します。

設定した評価規準を、単元のどこで、どのような活動を通して、どのような評価資料により見て取るのかがわかるように作成してください。

指導と評価の計画

教科名： 芸術（工芸）

科目名： 工芸 I

1 題材名： 私だけの紋を染める（糊置きによる手ぬぐい型染め）

2 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知】 形や色彩、素材、光等の性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>【技】 染色の制作方法を踏まえ、意図に応じて染料などの材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>【発】 自然や素材、自己の思いなどから独創的な文様を心豊かに発想するとともに、手ぬぐいの用途と文様の美しさの調和を考え、日本の伝統的な染色の表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 身近な生活の視点に立って染物のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と染色の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【態表】 主体的に身近な生活の視点に立って、自然や素材、自己の思いなどから生活を心豊かに演出する表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 主体的に身近な生活の視点に立って作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と染色の制作過程における工夫や素材の生かし方、技法などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

3 題材の指導と評価の計画 (16)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【鑑賞①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な染物の作品や伝統文様、家紋などを鑑賞する。 鑑賞したことから感じたことや、考えたことをワークシートにまとめる。 グループで気付いたことなどを意見交換する。 題材の目標や作業の手順などを確認し、制作の見通しを持つ。 		○鑑	○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> 発言の内容 ワークシート 活動の様子
2 (4)	<p>【発想や構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や自身の趣味などから、手ぬぐいに染め抜くオリジナルの紋をデザインし、アイデアスケッチをする。 紋のデザインをグループで共有して、意見交換する。 用の美を考えながら紋の大きさや配置、染めの濃淡などの構想を練る。 		○発	↓	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイデアスケッチ 発言の内容
3 (8)	<p>【制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> 型紙を制作する。 型を用いて糊置きし、乾かす。 染液に浸けて染め、媒染し、乾燥させる。 	○技		○態表	<ul style="list-style-type: none"> 制作途中の作品 活動の様子 ワークシート
4 (2)	<p>【鑑賞②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成した作品を相互鑑賞する。 			○態鑑	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発言の内容
	<p><授業外：題材の終了後></p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅にてぬぐいを洗濯後、実際に使用し、使い心地や使った際の気持ちなどをレポートにまとめる。 	○知技	○発鑑		<ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイデアスケッチ 完成作品 活動の様子の記録 レポート

1 単元名：

漢字仮名交じりの書の制作 ～蘭亭序の書風を生かして～

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【A 表現】</p> <p>①蘭亭序や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>②意図に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>③線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解している。</p>	<p>【A 表現】</p> <p>①漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>②作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p>	<p>【A 表現】</p> <p>①自身の表現の意図に基づく表現、蘭亭序の書風を生かした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【B 鑑賞】</p> <p>②書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>○ 校歌の指定部分のうち、どれを作品化するか決める。</p> <p>○ 紙のサイズを決める。</p> <p>○ 草稿を作成する。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・草稿作品 ・ワークシート
2 (2)	<p>○ 実際のサイズの紙に制作する。</p> <p>○ 班別に批評会を行う。</p> <p>○ 批評会を受けて、どうしていくかを作品に記入し、更に作品を制作する。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・途中経過の作品 I ・ワークシート
3 (2)	<p>○ 返却された作品のコメントを読みながら、更に作品を制作する。</p> <p>○ 班別に批評会を行う。</p> <p>○ 批評会を受けて、考えた工夫を作品に記入し、更に作品を制作する。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・途中経過の作品 II ・ワークシート
4 (2)	<p>○ 返却された作品のコメントを読みながら、更に作品を制作し、清書を制作する。</p> <p>○ 互いに別の班員の作品を鑑賞する。</p> <p>○ この課題全体を通して振り返る。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・清書作品 ・ワークシート

外国語「指導と評価の計画」の様式は別途あり

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭基礎

1 単元名：

子供の生活と保育

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	・単元の目標を確認し、単元を貫く課題に対する学習前の考えを記入する。 【子供の世界を知る】 ・子供のものごとの感じ方を理解し、子供との適切な関わり方を考える。				
2	【子供の発達】 ・乳幼児の心身の発達の特徴について理解する。	○			・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
3	【子供の生活】 ・子供の遊びの重要性や生活習慣の形成、健康管理、安全管理について理解する。	○			・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
4	【子供の権利と福祉】 ・子供の権利と福祉、国や地域での支援について理解し、子供にとって適切な保育環境とはどのようなものか考える。	○	○		・活動観察 ・ワークシート ・定期テスト
5	【単元のまとめ】 これまでの学習を踏まえて、【単元を貫く課題】に対する自分の考えと自己評価をワークシートに記入する。		○	○	・ワークシート

1 単元名：

情報社会の問題解決

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ②情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ③情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	①目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ②情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考察している。 ③情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	①情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組み、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 ②情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○情報社会における問題 ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・情報社会の問題についてまとめ、発表する。				
2 (3)	○問題の定義と問題解決の進め方 ・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見し、問題の明確化を行う。 ・アイデアを生み出す方法、アイデアをまとめる方法について、実際に体験しながら学ぶ。				
3 (3)	【実習】<現在の情報システム> ・スマートフォン等、身近な題材を取り上げ、問題や情報モラルについて科学的に捉え、解決策を考える。 ・図解による解決策、数値による解決策について、体験する。		○		【態】①② 【思】①② 発表(及びその周辺情報)の分析
4 (3)	○グラフと情報リテラシー ○情報技術の進展に伴う人間の生活や社会への影響 ○これからの情報社会		○	○	【思】①② 【態】③ 発表(及びその周辺情報)の分析 【知】③ ワークシート
5 (2)	○単元のまとめ ・地域に向けたSNS講座を企画・提案する。		○	○	【態】①②③ 【思】①②③ 発表(及びその周辺情報)の分析



指導と評価の計画

教科名： 理数（共通教科）

科目名： 理数探究基礎

1 単元名： 探 究 活 動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①観察、実験、調査等についての基本的な技能を身に付けている。 ②探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能を身に付けている。	①数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせるなどして課題を設定するための基礎的な力を身に付けている。 ②探究した結果をまとめ、適切に表現している。	①様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【課題の設定】</p> <p>◆課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な事象等から数量として捉えられるものを見いだす。 標本を抽出し統計的に処理するなどして傾向や特徴を見いだす。 数学や理科などに関する検証可能な課題を設定する。 		○		思① ワークシートの記述を分析し、課題を設定するための基礎的な力を身に付けているか見取る。
2 (3)	<p>【課題解決の過程】 【分析・考察・推論】</p> <p>◆調査結果の処理と考察・推論</p> <ul style="list-style-type: none"> データの整理を行い、結果を分析する。 結果の妥当性を検討し、先行研究や理論等も考慮し、考察・推論する。 	○			知① 観察・実験・調査についての基本的な技能が身に付いているか探究ノートの記述から見取る。
3 (2)	<p>【表現・伝達】</p> <p>◆報告書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 報告書として必要な要素を盛り込みながら作成する。 <p>◆探究の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究の過程を振り返り、次の探究の過程へのイメージをもつ。 	○	○	○	知② 探究した結果を報告書としてまとめるために必要な技能が身に付いているか。 思② 他者に伝えるべき内容について、データの整理と処理を行うなどして適切に表現しているか。 主① 様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、次の探究の過程へのイメージをもつことができたか。

指導と評価の計画

教科名：

農業

科目名：

農業と環境

1 単元名：

農業と環境を学ぶ

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(ア) 農業学習の特質や、農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 (イ) 学校農業クラブ活動の組織と内容及び活動の方法について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	(ア) 農業と環境に関する課題を発見し、プロジェクト学習により、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 (イ) 学校農業クラブ活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	(ア) 農業と環境について自ら学び、プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 (イ) 学校農業クラブ活動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<input type="checkbox"/> 農業学習とは何か ・ 農業と環境とのかかわりについて	○			・ 小テスト ・ ワークシート
2 (3)	<input type="checkbox"/> 農業と環境の学び方 ・ 農業学習の方法をグループで話合う ・ 農業学習におけるプロジェクト学習	○	○	○	・ ワークシート ・ 活動観察
3 (3)	<input type="checkbox"/> 学校農業クラブ活動	○	○	○	・ 定期考査 ・ ワークシート ・ 活動観察

※単元の設定は、学習指導要領上の「指導項目」を複数組み合わせる構成となることも考えられます。(各校の実状にあわせて設定して下さい。)複数組み合わせの場合、目標(評価規準)も複数となりますが、1つの文章としてまとめることも可能です。

指導と評価の計画

教科名：

工業（電気）

科目名：

電気回路

1 単元名：

三相交流

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
三相交流について電流、電圧とそれら電氣的諸量の相互関係と量的に取扱う方法や電氣的諸量を計算により処理する方法などを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	三相交流の電流、電圧及び相互関係に着目して、三相交流の結線方法に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善している。	三相交流について自ら学び、電流、電圧、及び相互関係などを工業技術と関連付けた工業生産への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【学習の見通しを持つ】 ・単元の目標の確認 ・学習活動流れを理解する ・三相交流回路の基礎事項を理解する				
2 (1)	【三相交流の発生と表し方を理解する】 ・波形図やベクトル図を作図	○	○		・ワークシート ・成果物
3 (1)	【三相交流回路の電圧と電流の利点について説明する】 ・電氣的諸量を読み取る。 ・グループワークを通じて三相交流回路の特長について考え、表現する。		○	○	・ワークシート ・活動観察
4 (1)	【これまで学習の振り返り】 ・課題解決の方法について考える。			○	・ワークシート ・授業観察
5 (5)	【Y-Y回路、Y-Δ回路、Δ-Δ回路、Δ-Y回路について線間電圧と相電圧、線電流と相電流の関係】 ・電流値、電圧値及び抵抗値などを計算する。 【負荷のインピーダンス交換について】 ・インピーダンスの値を計算する。	○		○	・ワークシート ・活動観察
6 (1)	【単元の学習を振り返る】 ・グループワーク等により三相交流回路の考え方について理解を深める。			○	・活動観察

指導と評価の計画

教科名：

商業

科目名：

ビジネス基礎

1 単元名：

企業の形態と組織

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業の形態と組織について経済社会における事例と関連付けて理解している。	企業の形態と組織に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案している。	企業の形態と組織について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【社会における企業の役割にはどのようなものがあるか。】 ○企業の役割や起業家精神、ビジネスの創造について	○			・ワークシート ・小テスト
2 (2)	【企業の経営や組織での課題について、どのような改善方法があるか。】 ○企業の経営理念や企業倫理をインターネットで調べ、考察する。		○		・ワークシート
3 (3)	【企業が持続可能な成長をするために必要なことはどのようなことか。】 ○ある企業の競争戦略を調べ、グループで話し合う。			○	・ワークシート ・活動観察

指導と評価の計画

教科名：

水産

科目名：

海洋情報技術

1 単元名：

水産や海洋における情報技術の応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について、基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。	海洋に関する環境情報や海洋の観測・測量システム、ICT利活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【水産業や海洋関連産業と情報技術の関わりについて理解を深め、その課題について考察する。】	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 自ら調べ、理解した内容をまとめる。 定期考査 基礎的な知識を理解している。 ワークシート 水産海洋への影響を考察し、分かりやすく表現している。 定期考査 自ら考察した内容をまとめることができる。 ワークシート グループワーク等とおして、他者の考えを整理し、協働的に学ぼうとしている。
2 (4)	【情報セキュリティと情報モラルについて理解を深め、その課題について考察する。】	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 自ら調べ、理解した内容をまとめる。 定期考査 基礎的な知識を理解している。 ワークシート 情報に関連した身近なトラブルについて考察し、分かりやすく表現している。 ワークシート 単元の学びを振り返り、学習状況を把握するとともに、自らの学習の進め方について考えようとしている。

指導と評価の計画

教科名：

看護

科目名：

基礎看護

1 単元名：

看護における倫理

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【知識】看護の職業倫理に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 ※本単元の特性上、「知識」のみ記載する</p>	<p>看護の本質に関わる課題を発見し、倫理観を踏まえて解決策を見いだしている。</p>	<p>看護の本質を深く理解するために自ら学び、人々の健康の保持増進を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【看護の職業倫理とは？】 ○看護の職業倫理に関する基礎的・基本的な知識を理解する。</p>	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・小テスト ・活動観察
2 (2)	<p>【看護実践場面での倫理的課題とはどんなことか？】 ○倫理的ジレンマについて、分析し、考察する。</p>		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
3 (2)	<p>【「看護における倫理の原則」「看護者の倫理綱領」を活用して事例の倫理的ジレンマを考察する。】 ○事例から「患者・家族にとって良い看護とは」をグループで話し合い、発表する。</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動観察 ・ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

福祉

科目名：

社会福祉基礎

1 単元名：

社会福祉の理念と意義

2 単元の目標と評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や自立の概念、日常生活と福祉、社会福祉理念の変遷などについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	社会福祉の理念や意義、尊厳の保持や自立支援などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【少子高齢化と人口減少社会の到来】 ○少子高齢社会と人口減少社会について理解を深め、その課題について考察する。	○	○		・ワークシート ・定期考査
2 (1)	【地域社会の変化】 ○都市問題や過疎化、市町村合併について理解し、地域の課題について考察する。	○			・ワークシート ・定期考査
3 (2)	【生活の変化】 ○家族の多様化及び女性の職場進出について理解を深め、関連するサービスについて考察する。	○	○	○	・ワークシート ・定期考査

指導と評価の計画

特別活動

1 内容のまとめり： ホームルーム活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

2 内容のまとめりの評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<p>①社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。</p> <p>②現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けている。</p>	<p>①現在の自己の学習に関する課題、及び将来の在り方や生き方や進路についての課題を見いだしている。</p> <p>②主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。</p>	<p>①将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返ろうとしている。</p> <p>②働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて、現在及び将来の生活を改善しようとしている。</p>

3 内容のまとめりにおける指導と評価の計画

題材（あるいは議題）	主な学習活動
「よりよい高校生活を送るために」	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア・パスポート」を活用して、中学校3年間を客観的に振り返り、高校3年間で身に付けたい力と具体的な目標を明確にする。 ・話し合いを通して考えた目標について、グループで共有し、今年1年間の目標を決める。 ・「キャリア・パスポート」を活用して、定期的に自分自身の活動及び取組を客観的に振り返り、整理する。 ・「キャリア・パスポート」を活用して、今年1年間の活動及び取組について客観的に振り返って共有し、自己の良さや課題を見いだす。

「総合的な探究の時間」は、
「総合的な探究の時間」指導計画を使用する

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 政治・経済

1 単元名： 現代の経済社会（1）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 生産・分配・消費，希少性，トレードオフ，機会費用など，経済の根本的な概念について理解している。 資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。 効率性と公平性について理解している。 需要と供給により価格と生産量が変わることを理解している。 希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。 情報の非対称性によって生じる問題の具体例について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察している。 資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 大きな政府と小さな政府の考え方について，協働的に考察し，論拠をもって表現している。 市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察し，論拠をもって表現している。 情報の非対称性によって生じる問題とその対応策について，2つの視点（情報をもつ側ともたない側）を踏まえながら協働的に考察し，適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に，経済的な効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	【経済活動の意義】 ・経済活動とはどのように営まれているのか，限りある資金や資源はどのように選択され，配分されていくのかについて理解する。 ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (2)	【経済社会の変容】 ・資本主義と社会主義はどのように変容しているのか，また市場規模の広がりを見せる市場経済の展望と課題について理解する。 ・大きな政府と小さな政府について，それぞれの経済的な課題への対応を協働的に考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (3)	【経済主体と市場の働き】 ・3つの経済主体間の経済循環はどのようなものか，また市場の効率性と，その限界はどのような点にあるのかについて理解する。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

公民

科目名：

政治・経済

1 単元名：

現代の経済社会（2）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・有限責任と無限責任の考え方について理解している。 ・株式会社の仕組みについて、p.64の図2を利用しながら、株主と経営者との関係を理解している。 ・p.66のQ&Aを利用して、株式売買に関する考え方を理解している。 ・NIの生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに、3つが理論的に同額なることを理解している。 ・現在においては、GDPなどの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標、社会的側面からの指標などがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が従業員をはじめ、消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか、協働的に考察・構想し、適切に表現している。 ・景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や、政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察したことを、論拠をもって表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して、企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・社会の課題を解決する会社をどのように起業していくか、主体的に考察しようとしている。 ・経済成長による経済的な豊かさと幸福について、数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価すべきかという観点から、主体的に考えを導きだそうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【企業の役割】 ・株式会社のしくみにはどのようなものがあるのか、企業がなすべき社会的責任とは何かなど、企業の役割と社会的責任について理解する。 ・企業の社会的責任や法令遵守(コンプライアンス)について協働的に考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (2)	【国民所得】 ・経済活動の大きさをはかる指標には何があるのか、またそれぞれの指標は、どう関係しているかについて理解する。 ・NI(国民所得)から三面等価の原則について考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (2)	【経済成長と国民の福祉】 ・経済成長や景気変動の要因とは何か、また経済活動の見方であるフローとストックの違いとは何かについて理解する。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について多面的に考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 政治・経済

1 単元名： 現代の経済社会（3）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 金融は、信用創造等により、家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ、生産性を高め、社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。 財政に求められる機能について理解している。 一般会計の歳入・歳出がどのように推移してきたかを適切に読み取ることができている。 累進課税制度について、計算方法も踏まえながら理解している。 日本の財政の現状と課題について、複数資料の読み取りを通じて理解している。 主要な直接税と間接税について、各税を増税した場合のメリットとデメリットを信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 景気のそれぞれの局面に対処するため、日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察したことを、論拠をもって表現している。 一般会計の歳入・歳出について、一部項目が大きく増加した背景を考察し、適切に表現している。 プライマリーバランスの改善や債務残高の減少に資する方策について、多面的・多角的に考察し、論拠をもって表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 金融商品についての関心を高め、リスクとリターンとの関係などをよく理解したうえで、無理のない資金運用を心がけようとするなど、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 公平な税負担について、主体的に考えを導きだそうとしている。 日本の財政の現状と課題を理解したうえで、財政再建について興味関心を持ち、歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に追究しながら、「財政健全化のあり方」を探究するための意欲を高めている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【金融の役割】 ・経済活動における資金の流れとはどのようなものか、また直接金融と間接金融の違いは何かについて理解する。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (2)	【日本銀行の役割】 ・日本銀行が実施する金融政策の目的は何か、またどのような方法で通貨供給量を調整しているのかについて理解する。 ・中央銀行の役割について多面的に考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (2)	【財政の役割と租税】 ・経済活動における財政の役割は何か、また歳入の柱である租税は、どのようなしくみになっているのかについて理解する。 ・財政の持つ様々な役割や納税者としての立場から租税のあり方について考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
4 (3)	【日本の財政の課題】 ・税制改革とは何か、財政の硬直化が生じる原因とは何か、また財政構造改革とはどのような改革なのかについて理解する。 ・日本の財政の現状を理解し、これからの財政のあり方を考える。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 政治・経済

1 単元名： 現代の日本経済と福祉の向上（1）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 ・中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 ・農業基本法や食料・農業・農村基本法、食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解している。 ・食料安全保障の観点から、日本の食料自給率と貿易の関係について理解している。 ・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 ・消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り、求められる消費者像の変遷について理解している。 ・消費者相談の実態について、国民生活センターのウェブサイトから情報を適切に読み取り、それらをまとめることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察している。 ・人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。 ・中小企業が、自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 ・所得補償金などによって小規模農家を保護するべきか、規制緩和で大規模経営を振興するべきか、といった観点で日本の農業について協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・消費社会の拡大や過度な宣伝等について、消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p. 87の時事コラムを踏まえつつ、今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 ・食料安全保障について主体的に追究し、自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。 ・農業をめぐる現状と課題を理解したうえで、これからの日本の農業について興味関心をもち、「持続可能な農業のあり方」を探究するための意欲を高めている。 ・よりよい社会の実現を視野に、消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【日本経済の成長と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本経済は戦後復興をどのようにはたしたのか、また1990年代以降の長期不況に対し、どのような対策がとられたのかについて理解する。 ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を、統計資料を基に考える。 ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 	○			<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査・ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>演習ノート・ワークシート</p>
2 (2)	<p>【中小企業と農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の中小企業の現状と課題は何か、また国際化の影響を受ける農業には、どのような農政が必要なのかについて理解する。 ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。 ・社会とのかかわりに着目して、これからの中小企業の姿を考える。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 	○			<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査・ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>演習ノート・ワークシート</p>
3 (2)	<p>【消費者問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな消費者問題に、行政や消費者自身はどう対応しているのか、また消費者の権利と義務について理解する。 ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を協働的に考察する。 	○			<p>【知識・技能】</p> <p>定期考査</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査・ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>演習ノート・ワークシート</p>

1 単元名： 現代の日本経済と福祉の向上（2）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 ・労働基本権と労働三法の内容について理解している。 ・職場における不当な差別的扱いがあつてはならず、そのための法整備と対策が急がれることを理解している。 ・日本的雇用形態の特徴を理解しており、また、それらのあり方が崩れてきていることを理解している。 ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 ・日本の社会保障制度が諸外国との比較でどのようなものであるかを読み取り、また、その概要を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し、それらを適切に表現している。 ・環境保護に向けた取り組みのあり方について、多面的・多角的に考察している。 ・どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか、多面的に考察している。 ・非正規雇用の労働者が置かれている厳しい状況について、権利の保障や保護の観点から課題と解消のための政策を協働的に考察し、それを適切に表現している。 ・日本の社会保障制度の現状と課題について、多面的・多角的な観点（少子高齢化、年金制度、負担と給付のバランス）に立ちながら考察し、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで、今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して、課題を意欲的に解決しようとしている。 ・日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで、諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち、「日本におけるワーク・ライフ・バランスの実現」を探究するための意欲を高めている。 ・安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して、社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【公害防止と環境保全】 ・公害はなぜ発生するのか、また公害防止や環境保全のためには、どのような対策が必要なのかについて理解する。 ・経済成長と公害問題との関係を考える。 ・法制度の整備のほか、私たち消費者の行動について考える。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (3)	【労働問題と労働者の権利】 ・労働者の権利は、どのようにして確立してきたのか、また労働基本権を具体化する労働三法の内容について理解する。 ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (3)	【こんにちの労働問題】 ・日本の伝統的な雇用形態は、どう変化してきたか、また職場における人権の課題について理解する。 ・日本的雇用形態の変化や、ワーク・ライフ・バランスについて協働的に考察する。	○	○	○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
4 (4)	【社会保障の役割と課題】 ・社会保障制度は、どのように発展してきたのか、また日本の社会保障制度のしくみと課題について理解する。 ・諸外国の制度との比較も含めて考える。 ・少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら、今後の課題を考察する。	○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 政治・経済

1 単元名： 国際政治の動向と課題（1）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 ・安全保障理事会の機能について理解している。また、安保理改革として求められている内容を理解している。 ・国連が取り組む課題について、信頼性の高い情報源から収集し、適切に整理することができている。 ・中国やロシアなどの大国が領有権紛争を起こしていることや、中東の民主化運動により地域全体が不安定化していること、米中対立の深化など、今日的な国際政治の課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治や国際法はどのようなものなのか、国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど、適切に表現している。 ・領土問題について問を見出し、平和的に解決する観点から協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・安保理改革の必要性について、大国一致の原則や拒否権の行使の観点から協働的に考察し、それらを適切に表現している。 ・冷戦後の「平和に対する脅威」をとりのぞくために何が必要か、といった観点で協働的に考察し、それらを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。 ・国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会、経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し、国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。 ・国際連合のしくみや取り組みを理解したうえで、国際社会における平和の実現について興味関心をもち、「持続可能な平和のあり方」を探究するための意欲を高めている。 ・国際社会における法の支配について主体的に追究し、各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	【国際社会と国際法】 ・国際社会を構成する要素は何か、国際法とは何か、また領土問題の発生にはどのような原因があるのかについて理解する。 ・国内政治や国内法との比較で考える。	○		○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
2 (2)	【国際社会の変化】 ・国際社会における戦争観や人権の考え方はどう変化したか、また国際社会におけるNGOの役割とは何かについて理解する。 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。	○		○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
3 (2)	【国際連合と国際協力】 ・集団安全保障とは何か、国際連合は、国際連盟と比べてどのような点が異なっているのかについて理解する。 ・主要機関や専門機関の働きを比較・考察する。 ・安保理改革などを材料に国際連合の課題を考える。	○		○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート
4 (3)	【こんにちの国際政治】 ・冷戦の終結によって、国際社会はどうか変わったのか、また紛争やテロの背景にはどのようなものがあるのかについて理解する。 ・対立構造の変容から、国際社会の力学の変化を考える。 ・大国の動向や、国家対国家の枠組みに収まらない対立構造について考える。	○		○	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 演習ノート・ワークシート

指導と評価の計画

教科名：

国語

科目名：

現代の国語

1 単元名：

高校生の読書量を増やすための提案書を書こう

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	① 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ② 「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	提案書を書くことを通して、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、伝えたいことを明確にし、文章の構成や展開を工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 提示された例文を基に情報と情報との関係について考える。 				
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 提案する相手や、提案に必要な情報を収集する。 内容、構成などをプレゼンテーションソフトのスライド機能を用いて入れ替えながら整理する。 スライドで整理した構成案を基に、提案書を作成する。 	○	○		【知識・技能】 「構成スライド」の記述の確認 【思考・判断・表現】 ① 「提案書」の記述の確認
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 提案書を生徒間で読み合い、相互評価を行う。 相互評価シートを基に、提案書を書き直す。 		○		【思考・判断・表現】 ② 「提案書」及び「相互評価シート」の記述の分析
4 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 書き直した提案書をクラス全体で共有する。 振り返りシートにより単元の学習を振り返る。 振り返りシートを基に、単元の学習で得た気づきをグループや全体で共有する。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

地理歴史

科目名：

地理総合

1 単元名：

地球的課題と国際協力

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p>	<p>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>【世界各地の地球的課題】</p> <p>・世界各地の地球的課題と、その背景、課題の解決に向けた国際的な取組や日本の役割を学ぶことに対して、関心をもつ。</p>				
2 (7)	<p>【地球環境問題】</p> <p>・地球環境問題が起きている位置や分布、原因などを調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>【資源・エネルギー問題】</p> <p>・資源・エネルギー問題についての問いを設定し、各自で考察したことをまとめる。</p> <p>【人口問題】</p> <p>・世界各地で見られる人口問題について理解する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現（レポートの記述内容）</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの記述内容</p>
3 (3)	<p>【食料問題】</p> <p>・世界の抱える食料問題とその要因を考察しワークシートに表現する。</p> <p>・食料問題の解決のために、各国あるいは国際的に行われている取組について、グループ内でテーマを設定し、考察する。</p>		○		<p>・ワークシートへの表現</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
4 (4)	<p>【居住・都市問題】</p> <p>・世界各地で見られる居住・都市問題について理解し、居住・都市問題の要因や解決の方向性などを考察する。</p> <p>【民族問題】</p> <p>・民族問題・難民問題の現状や要因、解決の方向性について考察する。</p>	○	○		<p>・ワークシートへの記述内容</p> <p>・ワークシートへの表現（問いの表現、課題の考察）</p> <p>・ワークシートへの表現</p> <p>・生徒の発表</p> <p>・成果物（スライド）</p>
5 (2)	<p>【持続可能な社会の実現をめざして】</p> <p>・地球的課題と国際協力についての学習を振り返り、ワークシートに表現する。</p>	○		○	<p>・単元を見通して学び、振り返るワークシートへの記述内容</p>

指導と評価の計画

教科名： 公民

科目名： 公共

1 単元名： 法的な主体となる私たち（公共A）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	法や規範の意義及び役割について、よりよい現代社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (7)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	法とは何かについて理解するとともに、望ましい法の在り方について学習する。				
2 (2)	精神の自由、身体の自由、経済活動の自由について理解するとともに、犯罪に因る処罰や公共の福祉により自由が制限されることもあることについて学習する。				
3 (3)	法の下での平等について理解するとともに、望ましい平等の在り方について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
4 (4)	社会権や新しい人権（環境権、プライバシーの権利、自己決定権）等、20世紀以降に登場した人権について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
5 (5)	司法制度について学習する。	○			【知識・技能】 定期考査
6 (6)	契約と法、消費者の権利と責任について学習する。	○			【知識・技能】 ワークシートの確認
7 (7)	本単元で学んできたことを生かし【単元を貫く問い】について自らの考えを論述する。		○	○	【思考・判断・表現】 ワークシートの確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートの確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

数と式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①乗法の展開公式や因数分解の公式を理解している。 ②根号を含む式の加減乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 ③等式・不等式の性質を理解している。	①整式の計算を工夫して展開・因数分解などの計算ができる。 ②数を実数まで拡張する過程を確認し、有理数と循環小数を互いに変換することができる。 ③絶対値を含む方程式・不等式の計算をすることができる。	①式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、式の変形や計算に取り組もうとしている。 ②式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○多項式の計算、式の展開、因数分解・分配法則や指数法則を理解して、計算する。 ・展開公式を利用して、式の計算をする。 ・公式を利用して、因数分解する。 ・工夫をして、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○実数、絶対値、根号を含む式の計算・循環小数を分数に、分数を小数に変換する。 ・根号を含む式の加減乗法の計算や分母の有理化の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式 ・1次不等式や連立1次不等式を解く。 ・問題文から不等式を立式し、解を求める。 ・絶対値を含む方程式・不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

集合と命題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通部分や和集合、ド・モルガンの法則を理解し、集合を求めることができる。 ②命題の真偽を判断し、必要条件・十分条件を区別することができる。 ③逆・裏・対偶の命題を述べることができる。	①逆・裏・対偶の命題の真偽を正しく判断することができる。 ②対偶や背理法を利用した証明法について理解する。	①集合の考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとするができる。 ②命題と条件及び証明法などの考え方や体系について関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○集合 ・共通部分や和集合を求める。 ・ド・モルガンの法則を利用して、集合を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○命題と条件、逆・裏・対偶 ・命題の真偽を判断する。 ・命題の逆・裏・対偶の命題を述べ、真偽を判断する。 ・対偶や背理法を利用した証明法を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

二次関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ③二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。 ④二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。	①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を二次関数の考えを用いて考察するよさを認識、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○二次関数のグラフ、平行移動、最大最小、決定 ・二次関数の式を平方完成する。 ・二次関数の頂点や軸を求め、グラフをかき。 ・平行移動した二次関数の式を求める。 ・二次関数の最大値や最小値を式から求める。 ・与えられた条件をもとに二次関数の式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○二次方程式、放物線と直線の共有点 ・因数分解や解の公式を利用して、二次方程式を解く。 ・判別式を利用して、実数解の個数を調べたり、実数解をもつ範囲を求めたりする。 ・二次関数と直線の共有点の個数や座標を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○二次不等式、連立二次不等式 ・因数分解や解の公式、判別式、グラフを利用して、二次不等式を解く。 ・数直線を利用して、連立二次不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

図形と計量

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。 ③鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 ④正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。 ⑤正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。	①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 ②図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○直角三角形と三角比 ・直角三角形における正弦、余弦、正接の定義を理解する。 ・三角形の相互関係を理解し、三角比の値を求める。 ・ $90^\circ - \theta$ や $180^\circ - \theta$ の三角比の値を理解する。 ・三角比の等式を満たす θ の値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○正弦定理と余弦定理 ・正弦定理や余弦定理の公式を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○三角形の面積、空間図形への応用 ・三角比を用いた三角形の面積の求め方を理解する。 ・平面図形と同様に空間図形における辺の長さや角の大きさを正弦定理や余弦定理を用いて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

データの分析

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ②分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めることができる。	①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ②複数の種類のデータから適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。	①事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○データの代表値と四分位数 ・データの平均値や中央値、最頻値を理解する。 ・四分位数と箱ひげ図の関係を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○分散と標準偏差 ・データの数値から分散や標準偏差を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○散布図と相関係数 ・2つのデータから散布図を書く。 ・2つのデータの分散、共分散を求め、最終的に相関係数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

場合の数と確率

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ③確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ④独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。	①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ②確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ③確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。	①事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○集合の要素の個数と場合の数 ・集合の要素の個数や樹形図、和の法則、積の法則を利用して、場合の数を求める。 ・順列や円順列、重複順列の考え方を理解し、場合の数を求める。 ・組合せや同じものを含む順列の考え方を理解し、場合の数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○確率 ・基本的な確率の計算をする。 ・独立な試行の確率や反復試行の確率を求める。 ・条件付き確率を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○期待値 ・期待値を求める。 ・期待値を比較して、有利不利を判断する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学 I

1 単元名：

図形の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角形に関する基本的な性質について理解している。 ②円に関する基本的な性質について理解している。 ③空間図形に関する基本的な性質について理解している。	図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。	①事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○三角形の外心・内心・重心とチェバの定理、メネラウスの定理 ・三角形の外心・内心・重心の性質を理解し、角の大きさや辺の比を求める。 ・チェバの定理やメネラウスの定理を用いて、辺の比を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○円に内接する四角形、円と直線、2つの円 ・円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求める。 ・接線と弦の作る角の性質を理解して、角の大きさを求める。 ・方べきの定理を用いて、辺の長さを求める。 ・2つの円の関係と共通接線について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○空間図形と多面体 ・空間図形におけるねじれの位置の関係や直線と面の関係を理解する。 ・正多面体の性質について理解する。 ・オイラーの多面体定理について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

数と式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①乗法の展開公式や因数分解の公式を理解している。 ②根号を含む式の加減乗法の計算ができ、分母の有理化ができる。 ③不等式の性質を理解している。	①整式の計算を工夫して展開・因数分解などの計算ができる。 ②絶対値を含む方程式・不等式の計算をすることができる。	①式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、式の変形や計算に取り組もうとしている。 ②式の展開や因数分解、平方根や絶対値を含む式、等式・不等式の性質に関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○多項式の計算、式の展開、因数分解 ・分配法則や指数法則を理解して、計算する。 ・展開公式を利用して、式の計算をする。 ・公式を利用して、因数分解する。 ・工夫をして、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○実数、絶対値、根号を含む式の計算、1次不等式、絶対値を含む方程式・不等式 ・循環小数を分数に、分数を小数に変換する。 ・根号を含む式の加減乗法の計算や分母の有理化の計算をする。 ・1次不等式や連立1次不等式を解く。 ・絶対値を含む方程式・不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

集合と命題

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通部分や和集合、ド・モルガンの法則を理解し、集合を求めることができる。 ②命題の真偽を判断し、必要条件・十分条件を区別することができる。 ③逆・裏・対偶の命題を述べることができる。	①逆・裏・対偶の命題の真偽を正しく判断することができる。 ②対偶や背理法を利用した証明法について理解する。	①集合の考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとするができる。 ②命題と条件及び証明法などの考え方や体系について関心を持ち、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○集合 ・共通部分や和集合を求める。 ・ド・モルガンの法則を利用して、集合を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○命題と条件、逆・裏・対偶 ・命題の真偽を判断する。 ・命題の逆・裏・対偶の命題を述べ、真偽を判断する。 ・対偶や背理法を利用した証明法を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名： 数学

科目名： 数学Ⅱ

1 単元名： 二次関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①二次関数の式を平方完成し、軸や頂点を求め、グラフをかきすることができる。 ②定義域から二次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ③問題の条件から二次関数の式を求めることができる。 ④因数分解や解の公式を利用して、二次方程式を解くことができる。 ⑤判別式を利用して、実数解の個数を求めることができる。	①二次関数の平行移動や対称移動について理解し、式を求めることができる。 ②放物線と直線の共有点の座標や個数を求めることができる。 ③式やグラフから二次不等式を解くことができる。	①二次関数の考え方に興味を持ち、数学のよさを認識して、事象の考察に活用しようとしている。 ②二次関数の考え方に興味を持ち、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○二次関数 ・二次関数の式を平方完成し、軸や頂点を求め、グラフをかき。 ・平行移動や対称移動した式を求める。 ・条件から二次関数を決定し、求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○二次方程式、放物線と直線の共有点 ・因数分解や解の公式を利用して、二次方程式の解を求める。 ・判別式を利用して、二次方程式の実数解の個数を求めたり、重解や実数解を持つ条件を求める。 ・放物線と直線の式を連立して、共有点の個数や座標を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○二次不等式 ・因数分解や解の公式を利用して、二次不等式を解く。 ・連立二次不等式を解く。 ・二次不等式を利用して、二次方程式の解の存在範囲を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名： 三角比

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
三角比の表の意味を理解している。 三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができ、具体的な事象について三角比を使って考察することができる。 三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができ、 30° 、 45° 、 60° の三角比を直角三角形の辺の比から求めることができる。 鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。	三角比の相互関係や鈍角の三角比を考えることに関心をもち、鋭角の三角比との関係について考察しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○三角比 ・直角三角形を用いて、正弦(sin)、余弦(cos)、正接(tan)の定義について理解する。 ・ 30° 、 45° 、 60° の三角比について、求める。 ・三角比の表から値を読み取り、角の大きさを求める。 ・三角比を利用して、距離や高さ、大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○		○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【知識技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
2 (1)	○三角比の性質 ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・ $90^\circ - \theta$ の三角比を 45° 以下の値で表す。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○	○ ○	○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (1)	○三角比の拡張 ・単位円や直角三角形を使って、 180° までの三角比を求める。 ・ $180^\circ - \theta$ の三角比を 90° 以下の三角比の値を用いて求めることができる。 ・相互関係の式について理解し、利用して計算する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○		○ ○	【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・課題プリント 【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト

1 単元名：

三角比と図形の計量

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体性
三角比を用いた平面図形や空間図形の計量に関する知識を身に付けている。	三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察し、三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 正弦定理・余弦定理などを用いて、三角形の残りの要素を求めることができる。	正弦定理や余弦定理を用いて、空間図形の計量することができる。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

次	主な学習活動	知	思	態	主体性
1 (1)	○正弦定理 ・正弦定理の公式を理解する。 ・正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○	○	【知】 【思】 【態】
2 (1)	○余弦定理 ・余弦定理の公式を理解する。 ・余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・正弦定理と余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○	○	【知】 【思】 【態】
3 (1)	○三角形の面積 ・三角形の面積の公式について理解する。 ・三角形の面積を用いて、内接円の半径を求める。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。		○	○	【知】 【思】 【態】
4 (1)	○空間図形の計量 ・正弦定理や余弦定理を用いて、空間図形の辺の長さや角の大きさを求める。 ・空間図形における切断面の図の形を理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○	○	○	【知】 【思】 【態】

1名： 数学Ⅱ

的に学習に取り組む態度

定理や余弦定理を用い
三角形の辺の長さや角の
さを調べようとし、三角
用いて三角形の面積や空
形の計量に活用しようと

「記録に残す評価」

評価方法

主体的に学習に取り組む
度】

授業態度

ノート確認

思考・判断・表現】

課題プリント

定期試験(後日)

確認テスト

主体的に学習に取り組む
度】

授業態度

ノート確認

思考・判断・表現】

課題プリント

定期試験(後日)

確認テスト

主体的に学習に取り組む
度】

授業態度

ノート確認

思考・判断・表現】

課題プリント

定期試験(後日)

確認テスト

知識・技能】

授業態度

ノート確認

思考・判断・表現】

課題プリント

定期試験(後日)

確認テスト

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目

1 単元名：

データの整理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体性
四分位数や四分位範囲などの用語や意味を理解している。	整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができ、箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。	度数分布表の作成ができる。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

次	主な学習活動	知	思	態	
1 (1)	○度数分布 ・データを読み取り、度数分布表とヒストグラムを書く。 ・度数分布表から相対度数分布表を作る。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	 ○		【 ・ 【 ・ ・
2 (1)	○代表値 ・平均値、最頻値、中央値について理解し、データを並び替えて値を求める。 ・適切なデータの見方について理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	 ○		【 ・ 【 ・ ・
3 (1)	○四分位数と四分位範囲 ・データから四分位数や四分位範囲を求め、箱ひげ図を書く。 ・箱ひげ図から四分位数や四分位範囲を求める。 ・箱ひげ図やヒストグラムからデータの散らばりの度合いを正しく理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○	 ○	○ ○ ○	態 ・ 【 ・ ・ 【 ・ ・

1名： 数学Ⅱ

的に学習に取り組む態度

分布やヒストグラムをか
ととしている。

「記録に残す評価」

評価方法

【思考・判断・表現】

ノート確認

課題プリント

【知識・技能】

定期試験(後日)

確認テスト

【思考・判断・表現】

ノート確認

課題プリント

【知識・技能】

定期試験(後日)

確認テスト

主体的に学習に取り組む
【度】

授業態度

ノート確認

【思考・判断・表現】

課題プリント

確認テスト

定期テスト(後日)

【知識・技能】

定期試験(後日)

確認テスト

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学II

1 単元名：

データの分析

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
分散および標準偏差などの用語や散布図および相関係数の意味を理解している。	整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 2つの変量の相関係数を求めることや四分位数から、外れ値になり得る値の範囲を求めることができる。	データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○分散と標準偏差 ・分散と標準偏差について理解し、値を求めることができる。 ・2通りの分散の値の求め方を理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行う。	○ ○		○ ○ ○ ○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【知識・技能】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
2 (1)	○データの相関 ・散布図について理解し、データから散布図を書くことができる。 ・散布図から2つのデータの間に関係の正負、相関はないのいずれか3つに分類する。 ・共分散や相関係数について理解し、値を求めることができる。 ・相関係数と散布図の関係を理解する。 ・解答しながら、ポイントを確認する。 ・演習プリントや問題集を解く。	○ ○	○ ○		【思考・判断・表現】 ・ノート確認 ・課題プリント 【知識・技能】 ・定期試験(後日) ・確認テスト
3 (1)	○データの外れ値 ・四分位数を用いて、データの外れ値について理解し、外れ値あるかどうか判断する。		○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノート確認 【思考・判断・表現】 ・課題プリント ・定期試験(後日) ・確認テスト
4 ()					

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

場合の数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様々な集合の要素の個数を求めることができる。 ②場合の数や順列、組合せについての基本的な概念、法則・定理、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ③順列や組合せの総数が求められる。	①場合の数の求め方に見通しをもち、場面に応じた式をたてて計算ができる。 ②順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ③いろいろな組合せの問題に対し、組合せの記号を用いて表し、その総数を求めることができる。	①具体的な事象の考察に集合の要素の考え方を活用しようとしている。 ②順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。 ③積の法則・和の法則を理解し、具体的な場合に応用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 集合の要素の個数についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 場合の数についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 これまでの学習内容を振り返る 小テスト	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【思考・判断・表現】 小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やスライドを用いて順列についての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 組合せについての基本事項を学び、必要なことをノート等を書く。 教科書の例題を基に、学んだ知識をどう活用するか考える。 練習問題を解くことで、知識や考え方を整理し、定着させる。 これまでの学習内容を振り返る 小テスト	○	○	○	【知識・技能】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【思考・判断・表現】 プリント、問題集等の記述を確認、小テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシート

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

確率

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①確率についての概念、定理、用語、記号、試行の独立や条件つき確率の意味を理解している。 ②簡単な事象の確率を求めたり、その求め方を説明したりすることができる。 ③反復試行の確率や条件つき確率の計算ができる。	①いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 ②起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげる方法を見だし、考察することができる。 ③期待値を求め、意思決定に活用することができる。	①確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとしている。 ②反復試行や条件つき確率の考え方について関心をもつ。 ③起こり得る場合の数を、もれや重複がないように、見通しをもって、能率的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○事象と確率 ・使用される用語や記号をノートやプリントに整理し理解する。 ・日常の具体的な事象と関連付けながら事象の確率を求める。	○ ○	○		【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認
2 (1)	○確率の基本性質 ・使用される用語や記号をノートやプリントに整理し理解する。 ○独立な試行と確率 ・独立な試行や反復試行の確率を具体的な事象と関連付けながら求める。 ・複雑な事象の確率について具体的な事象と関連付けながら考察する。 ・振り返りシートで理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習の進め方の見通しを考える。	○ ○		○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集
3 (1)	○条件つき確率と乗法定理 ・条件つき確率を具体的な事象と関連付けながら考察する。 ○期待値 ・具体的な事象と関連付けながら期待値を求める。 ・振り返りシートで理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習の進め方の見通しを考える。	○	○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認

指導と評価の計画

教科名： 数学 科目名： 数学Ⅱ

1 単元名： 三角形の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角形についてのいろいろな性質について理解し、線分の比や長さを求めることができる。 ②重心、内心、外心の存在や、それぞれに関わる性質について理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ③メネラウスの定理、チェバの定理について理解し、それらを利用して、線分の比や長さを求めることができる。	①三角形の角の二等分線と線分の比の性質について、その証明を通して考察することができる。 ②重心、内心、外心などの存在や性質について、その証明を通して考察することができる。 ③メネラウスの定理、チェバの定理について、その証明を通して考察することができる。	①三角形のさまざまな性質について、いろいろな方法で調べようとしている。 ②平面図形の性質に興味・関心をもち、三角形の性質を利用しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (3)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○三角形と線分の比 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・定理を用いて、図形の線分の長さなどを求める。 ・定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
2 (1)	○三角形の重心・内心・外心 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・重心、内心、外心の性質を用いて、図形の線分の長さや角の大きさを求める。 ・重心、内心、外心の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。	○	○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
3 (1)	○メネラウスの定理とチェバの定理 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・メネラウスの定理やチェバの定理を用いて、図形の線分の長さを求める。 ・メネラウスの定理やチェバの定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。	○	○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名： 円の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①円のもついろいろな性質について理解している。 ②2つの円の位置関係や共通接線について理解し、2円の半径と中心間の距離との関係に着目して分類し、線分の長さを求めることができる。	円についてのさまざまな性質を用いて、図形の問題を処理し、解決することができる。	円の性質について興味・関心をもち、それらの性質について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (4)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○円に内接する四角形 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・円に内接する四角形の性質を用いて、図形の角の大きさを求める。 ・円に内接する四角形の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
2 (1)	○円の接線と弦のつくる角 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・円の接線の性質や接線と弦のつくる角の性質を用いて、図形の線分の長さや角の大きさを求める。 ・接線と弦のつくる角の性質の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
3 (1)	○方べきの定理 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・方べきの定理を用いて、図形の線分の長さを求める。 ・方べきの定理の証明を確認し、図形の性質を考察する。 ・確認テストに取り組む。 ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
4 (1)	○2つの円 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・2つの円の位置関係を利用して、図形の線分の長さを求める。 ・確認テストに取り組む。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認

指導と評価の計画

教科名： 数学 科目名： 数学Ⅱ

1 単元名： 数と人間の活動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①素数、約数と倍数の意味や余りによる整数の分類の方法、ユークリッドの互除法の原理について理解している。 ②素因数分解を活用して、約数の個数を求めたり、最大公約数や最小公倍数を求めることができる。 ③互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。	①素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。 ②除法における商と余りを活用して、整数の約数を考察することができる。	数と人間の活動のかかわりについて関心を持ち、調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (5)時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○約数と倍数 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・約数や倍数を求める ・倍数の判定を行う ・素因数分解の計算方法を行う ・確認テストに取り組む ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
2 (1)	○最大公約数と最小公倍数 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・除法の性質を用いて、整数を $a=bq+r$ の形で表す。 ・あまりによる整数の分類を行い、明大の証明を行う。 ・確認テストに取り組む ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
3 (1)	○整数の割り算と商および余り ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・除法の性質を用いて、整数を $a=bq+r$ の形で表す。 ・余りによる整数の分類を行い、命題の証明を行う。 ・確認テストに取り組む ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
4 (1)	○ユークリッドの互除法 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・互除法を用いて、最大公約数を求める。 ・確認テストに取り組む ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認
5 (1)	○不定方程式 ・使用される用語や定理をノートやプリントに整理し理解する。 ・様々な不定方程式を解く。 ・確認テストに取り組む ・振り返りを行い、理解できた点と難しかった点を整理し、今後の学習に活かす	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	【知識・技能】 ・プリントの記述の確認 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【思考・判断・表現】 ・確認テスト、定期試験(後日)の記述の確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りシート ・問題集 などの記述を確認

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

式の計算

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。</p> <p>②多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。</p>	<p>①式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け、多面的に考察することができる。</p> <p>②パスカルの三角形と二項定理を関連付け、多面的に考察することができる。</p>	<p>①事象を式の計算の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②式の計算において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<p>○整式の乗法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次式の乗法公式を理解し、展開や因数分解の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 <p>○二項定理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスカルの三角形と二項定理を関連付け、考察する。 ・二項定理を活用して、式の展開や項の係数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	<p>○整式の除法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整式同士の除法について降べきの順に整理して計算し、商と余りを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 <p>○分数式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因数分解を利用して、分数式を既約分数式に直す。 ・因数分解を利用して、分数式を通分して計算する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 ・振り返り <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・確認テスト <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名： 式と証明

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①等式、不等式の基本性質や基本的な証明方法を理解している。 ②平方の大小関係について理解して証明に用いることができる。 ③相加平均と相乗平均の大小関係を理解して証明に用いることができる。	①等式や不等式を目的に応じて変形し、その式の意味を明確に表現できる。 ②2変数の不等式の証明について考察することができる。	①等式の証明方法について理解し、証明の記述をしようとする。 ②相加平均と相乗平均の関係を図形的に調べようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○等式の証明 ・恒等式の意味と、等式が恒等式となるための条件について考察する。 ・等式の証明方法について理解し、いろいろな等式の証明をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○不等式の証明 ・不等式の基本性質を確認し、不等式の証明方法について考える。 ・相加平均と相乗平均の大小関係について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

複素数と方程式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすることができる。 ②2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。 ③因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。	①日常の事象や社会の自称などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 ②因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。	①事象を複素数と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②複素数と方程式において、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○複素数 ・2乗して-1となる虚数 i について理解し、実数を拡張した複素数について考える。 ・複素数の四則計算や共役な複素数を利用して分母を実数に直す計算をする。 ・ i を使って、負の数の平方根を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 ○2次方程式 ・複素数の範囲ですべての2次方程式の解を求める。 ・判別式 D を利用して、解の種類を判別する。 ・2次方程式の解と係数の関係について理解し、2つの解の和や積を求める。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○因数定理 ・剰余の定理を利用して、整式を一次式で割ったときの余りを求める。 ・因数定理を利用して、3次以上の整式を因数分解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 ○高次方程式 ・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解く。 ・高次方程式を解く過程を振り返り、因数定理への理解を深める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト ・課題プリント、問題集 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

点と直線

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 2点間の距離や、内分・外分について理解している。 ② 平面上の2点間の距離や内分点と外分点の座標を求めることができる。 ③ 方程式で表された直線を図示することができる。 ④ 条件にあった直線の方程式を求めることができる。 ⑤ 2直線の平行条件や垂直条件について理解している。	① 平面上の2点間の距離の公式を用いて幾何学的な定理を考察することができる。 ② 三角形の重心を座標を用いて考察することができる。 ③ 直線の交点や垂直であるための条件などについて、方程式を用いて調べる解析幾何的な考え方ができる。	① 点と直線の距離の公式について、複雑な式変形を根気強く理解しようとしている。 ② 2直線の交点を通る直線について、多面的に考察しようとしている。 ③ グラフ描画ソフトなどを活用して、いろいろと調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○直線上の点 ・数直線上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○平面上の点 ・座標平面上にある2点間の距離や、線分の内分点、外分点の座標を求める。 ・いろいろな図形の問題を、座標を用いて考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○		○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (1)	○直線の方程式 ・直線の方程式について理解し、1点と傾きが与えられた直線の方程式を求める。 ・2点を通る直線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
4 (1)	○2直線の関係 ・2直線の平行条件と垂直条件について考察する。 ・与えられた直線に平行、垂直な直線の方程式を、それぞれ求める。 ・点と直線の距離を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

円

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①中心点の座標を用いることにより、円を方程式で表すことができる。 ②円と直線の共有点の座標を求めたり、その位置関係を分類することができる。 ③円の接線の方程式を求めることができる。 ④2つの円の位置関係を中心間の距離で分類することができる。	①図形を「条件を満たす点の集合」とする数学的な見方や考え方を認識できる。 ②円の方程式を一般形から標準形に変形するために、平方完成を用いることを着想できる。 ③円と直線の位置関係を、判別式や距離を用いて多面的に考察することができる。	①図形を「条件を満たす点の集合」とする考え方を理解し、いろいろな点に関する条件からその軌跡を求める考え方を身につけている。 ②x, yについての2次方程式と図形との関係を調べようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○円の方程式 ・条件から円の方程式を求める。 ・平方完成をし、方程式から円の中心の座標と半径を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○		○ ○	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (1)	○円と直線 ・円と直線の共有点の座標を求める。 ・円と直線の位置関係を、共有点の個数から考える。 ・円と直線の位置関係を、中心点と直線の距離から考える。 ・円の接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

軌跡と領域

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①図形を与えられた条件を満たす点の集合として考える方について理解している。 ②不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、不等式で表される領域を求めたり、逆に、領域を不等式で表したりすることができる。 ③連立不等式の表す領域を図示できる。	① x, y についての不等式を座標平面上の点の集合として図示する考え方を認識できる。 ② x, y の1次式がとる値の最大値や最小値は領域を調べればよいことを理解して考えることができる。	①アポロニウスの円についてさらに詳しく調べようとしている。 ②領域を求めたり確かめたりするのに、代表となる点について調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○軌跡と方程式 ・与えられた条件を満たす点全体の描く図形を、方程式を用いて表す。 ・軌跡を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・確認テスト ・ノートやプリントの確認
2 (1)	○不等式の表す領域 ・直線や円を境界にもつ点の集合について理解する。 ・領域が不等式で表されることを理解する。 ・不等式の表す領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 ○連立不等式の表す領域 ・領域を確かめるために、代表となる点をとって調べる。 ・連立不等式の表す領域の意味を理解し、その領域を図示する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

三角関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 ②三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解している。 ③三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	①弧度法について理解して、弧度法と度数法の変換をすることができる。 ②三角関数の値の変化やグラフの特徴について考察することができる。 ③三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	①三角関数のグラフを活用して、周期や最大・最小などの基本的な性質を考察しようとしている。 ②三角関数を含む不等式を解くのに、グラフによる解法についても調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○一般角と弧度法 ・角の概念を一般角に拡張し、角の大きさを動径の回転量として考える。 ・弧度法と度数法の違いを理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認
2 (1)	○三角関数の性質 ・三角関数の定義について理解する。 ・三角関数の相互関係を理解し、1つの値から他の2つの値を求める。 ・三角関数の周期性について調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・理解】 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト
3 (1)	○三角関数のグラフ ・単位円を用いて、三角関数のグラフをかく。 ・グラフから、三角関数の周期性や対称性を考察する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	【知識・理解】 【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト
4 (1)	○三角関数を含む方程式・不等式 ・単位円を用いて、三角方程式について考察する。 ・単位円やグラフを用いて、基本的な三角方程式や不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名： 加法定理

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①三角関数の加法定理や2倍角の公式、半角の公式について理解している。 ②三角関数の合成について理解している。	①2直線のなす角についてタンジェントの加法定理を用いて解くことができる。 ②合成した三角関数の最大値や最小値を求めたり、その方程式を解くことができる。	①和と差の公式について調べようとしている。 ②三角関数を含む方程式について、グラフを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○加法定理 ・加法定理を理解し、 15° などの特別な角の三角関数の値を求める。 ・2直線のなす角を、加法定理を用いて求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○加法定理の応用 ・加法定理から2倍角の公式を導く。 ・三角関数の合成の考え方を理解し、関数の最大値や最小値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名： 指数関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①累乗や累乗根の定義を正しく理解している。 ②指数を有理数に拡張する意義を理解し、指数法則を用いて、指数計算ができる。 ③指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	①指数関数の式とグラフの関係について多面的に考察し、指数関数の値の変化やグラフの特徴について考察できる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③指数関数を含む方程式や不等式を解くには底を揃える必要があることを認識している。	①指数が拡張されていく過程に興味、関心を示す。 ②指数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○指数の拡張 ・指数が実数のときにも指数法則が成り立つことを理解する。 ・累乗や累乗根の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○指数関数 ・指数関数のグラフの特徴を考察する。 ・指数関数を含む方程式や不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

対数関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算や底の変換ができる。 ②対数関数の値の変化やグラフの特徴を理解している。 ③常用対数を活用して、桁数などを求めることができる。 ④対数を含む方程式・不等式を解くことができる。	①指数と対数を相互に関連付けて考えることができる。 ②数の大小比較をするには底を揃える必要があることを認識している。 ③対数関数を含む方程式や不等式を解くときにも底を揃える必要があることを認識している。 ④常用対数を利用して、小数の位を考察することができる。	①常用対数と桁数の関係を一般の場合について調べようとしている。 ②常用対数と小数の位の関係を一般の場合について調べようとしている。 ③対数関数のグラフについて、グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○対数とその性質 ・対数の定義を理解し、対数の値を求める。 ・底の変換公式を用いて、対数の計算をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○対数関数 ・対数関数のグラフを理解し、指数関数との関連を考える。 ・対数方程式や対数不等式を解く。 ・常用対数を用いて、桁数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

微分係数と導関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①導関数の定義を理解して計算することができる。 ②導関数の線形性を理解して求めることができる。 ③導関数と微分係数の関係を理解している。 ④微分係数を用いて接線の方程式を求めることができる。	①微分係数の図形的意味を考察できる。 ②変数に関係なく、導関数を求めることができる。 ③接点を仮定して、接線を考察することができる。	①導関数のグラフと元の関数のグラフについて多角的に調べようとしている。 ②グラフ描画ソフトなどを用いて多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○平均変化率と微分係数 ・関数の平均変化率および微分係数について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○導関数 ・導関数の定義を理解し、いろいろな関数の導関数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
3 (1)	○接線の方程式 ・接線の傾きと微分係数の関連を考える。 ・曲線に接する接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

微分法的应用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解している。 ②方程式や不等式の解について、グラフとx軸との位置関係から調べられることを理解している。	①導関数を活用して、関数の増減を考察することができる。 ②極値と端点の値から、最大値や最小値を考察することができる。 ③極値と関数の決定の関係について考察することができる。	①グラフ描画ソフトなどを用いて、つねにグラフを確認しようとしている。 ②方程式 $f(x)=a$ の実数解の個数について、グラフを用いるなど多面的な方法で理解を深めようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○関数の増減と極大・極小 ・導関数を利用して関数の増減を調べ、3次関数のグラフをかく。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○方程式・不等式への応用 ・関数のグラフとx軸や直線の位置関係を調べる。 ・関数のグラフを利用して、異なる実数解の個数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅱ

1 単元名：

積分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分の値が求められる。 ②定積分と微分の関係を用いて関数を決定する方法を理解している。 ③定積分と面積の関係を用いて、関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。	①微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 ②微分と不定積分の関係を用いて、積分の公式を考察しようとする。 ③面積を表す量として定積分をとらえることができる。	①定積分と微分の関係について、多面的に調べようとしている。 ②絶対値を含む関数の定積分について多角的に調べようとしている。 ③3次関数のグラフと面積について多角的に調べようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○不定積分 ・不定積分を微分の逆演算として理解し、不定積分を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
2 (1)	○定積分 ・定積分の定義を理解し、定積分の値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○			【知識・理解】 ・定期試験 ・確認テスト
3 (1)	○定積分と面積 ・定積分と面積の関連について、多角的に考察する。 ・定積分を用いて、曲線や直線で囲まれた図形の面積を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。		○ ○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・定期試験 ・確認テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

関数

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ②合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。	既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。	①事象を分数関数や無理関数のグラフの特徴や合成関数や逆関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○分数関数 ・関数の式から双曲線のグラフをかく。 ・平行移動した分数関数のグラフをかく。 ・グラフから定義域や値域、漸近線を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○無理関数 ・無理関数のグラフをかく。 ・グラフから定義域、値域を求める。 ・グラフを利用して平方根を含む不等式を解く。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○逆関数と合成関数 ・1対1の関数について理解する。 ・逆関数を理解し、逆関数の式を求める。 ・逆関数の性質を理解し、グラフをかく。 ・合成関数を理解し、合成関数の式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

数列の極限

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①数列の極限について理解し、数列 $\{r^n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。</p> <p>②無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。</p>	<p>①式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。</p> <p>②数列の極限に注目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	<p>①事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<p>○数列の極限</p> <ul style="list-style-type: none"> 数列の収束、発散について理解し、収束するときに極限値を求める。 数列の極限値の性質を理解する。 数列の極限の大小関係を理解し、極限や極限値を求める。 演習プリントや問題集を解く。 確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○	○	○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ノートやプリントの確認 課題プリント、問題集 振り返り
2 (2)	<p>○無限等比級数</p> <ul style="list-style-type: none"> 公比rによる無限等比級数 $\{r^n\}$ の極限を調べる。 漸化式で定められた数列の極限を求める。 演習プリントや問題集を解く。 確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○	○	○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ノートやプリントの確認 課題プリント、問題集 振り返り
3 (3)	<p>○無限級数</p> <ul style="list-style-type: none"> 無限級数の和の収束と発散について理解する。 無限級数の和が収束する条件を理解する。 無限級数の性質を理解し、無限級数の和を求めることができる。 演習プリントや問題集を解く。 確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○	○	○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題演習 確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ノートやプリントの確認 課題プリント、問題集 振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

関数の極限

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①極限の概念や原理、法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、尺的に表現、処理したりする技術を身に付けようとしている。</p> <p>②関数の値の極限について理解している。</p>	<p>①式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。</p> <p>②関数の極限に注目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	<p>①事象を極限の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	<p>○関数の極限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限值の性質を利用して、極限値を求める。 ・右側からの極限、左側からの極限について理解する。 ・指数関数、対数関数、三角関数の極限を調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	<p>○関数の連続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数が連続であるかどうか調べる。 ・ガウス記号を含む関数の連続性を調べる。 ・中間値の定理を理解し、範囲内における実数解をもつ証明をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

微分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 ②合成関数や逆関数の導関数について理解し、それを求めることができる。 ③三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解し、それらを求めることができる。	①導関数の定義に基づき、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を考察することができる。 ②関数の連続性と微分可能性、関数とその導関数や第二次導関数の関係について考察することができる。	①事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (8)	○微分法 ・極限を用いて、微分係数を求めたり、関数の微分可能性や連続性を調べたりする。 ・定義にしたがって、導関数を求める。 ・積の導関数、商の導関数を求める。 ・合成関数や逆関数の微分をする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (10)	○いろいろな関数の導関数 ・定義を理解し、三角関数の導関数を求める。 ・定義を理解し、指数関数、対数関数の導関数を求める。 ・対数微分法を用いて、導関数を求める。 ・曲線の方程式や、媒介変数表示で表された曲線の導関数を求める。 ・高次導関数を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

微分法の応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりすることができる。</p>	<p>関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	<p>①事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (8)	<p>○接線、関数の増減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分を利用して、接線や法線の方程式を求める。 ・平均値の定理を用いて、不等式の証明をする。 ・微分を利用して関数の増減表を書き、極値を求める。 ・第2次導関数を利用して、関数のグラフの変曲点を求め、グラフをかく。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	<p>○いろいろな微分の応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分や増減表を利用して、関数の最大値・最小値を求める。 ・微分を利用して、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を求めたりする。 ・微分を利用して、速度や加速度の大きさを求める。 ・近似式の考え方を理解し、近似値を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学Ⅲ

1 単元名：

積分法

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①不定積分及び定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。</p> <p>②置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分や定積分を求めることができる。</p> <p>③定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることができる。</p>	<p>①関数の式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりして、いろいろな関数の不定積分や定積分を求める方法について考察することができる。</p> <p>②極限や定積分の考えを基に、立体の体積や曲線の長さなどを求める方法について考察することができる。</p> <p>③微分と積分との関係に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p>	<p>①事象を積分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(27)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	<p>○不定積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・x^nや三角関数、指数関数の不定積分について理解する。 ・置換積分法や部分積分法を利用して不定積分を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (11)	<p>○定積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な関数の定積分の計算をする。 ・絶対値を含む関数の定積分の計算をする。 ・定積分と微分の関係について理解する。 ・置換積分法や部分積分法を利用して、定積分を計算する。 ・偶関数と奇関数の定積分について理解する。 ・区分求積法を利用して、図形の面積や体積を求める方法を理解したり、不等式の証明をしたりする。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (10)	<p>○積分法の応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積分を利用して面積を求める。 ・2曲線で囲まれた図形や楕円などの陰関数の面積を求める。 ・媒介変数表示で表された曲線を含む図形の面積や回転体の体積などを求める。 ・曲線の長さや時間と速度の関係式から進んだ道のりを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

平面上のベクトル

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍について理解している。 ②ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。	①実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 ②ベクトルやその内積の性質などを用いて、平面図形の性質を見出したり、多面的に考察できたりすることができる。 ③数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○ベクトルとその意味 ・有向線分やベクトルの表し方を理解する。 ・ベクトルの大きさについて理解し、求める。 ・単位ベクトルについて理解し、求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○ベクトルの演算 ・平面図形と関連して、ベクトルの加法と減法を理解し、求めたり、図示する。 ・逆ベクトルと零ベクトルについて理解する。 ・ベクトルの実数倍について理解する。 ・ベクトルの平行について理解する。 ・ベクトルの分解について理解し、任意の2つのベクトルに分解できる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○ベクトルの成分 ・基本ベクトルによるベクトルの成分表示を理解する。 ・ベクトル成分表示からの大きさを求める。 ・ベクトルの相等について理解する。 ・成分表示によるベクトルの演算をする。 ・成分表示によるベクトルの平行や分解を理解し、実際に求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (3)	○ベクトルの内積 ・2つのベクトルのなす角 θ と内積について理解し、求める。 ・2つのベクトルの内積と垂直・平行の条件を理解する。 ・内積の性質を用いて、なす角 θ や三角形の面積を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

ベクトルの応用

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①位置ベクトルやベクトル方程式について理解している。 ②交点の位置ベクトルや3点が一直線上にあるための条件を理解している。	実際の図形の形状と位置ベクトルやベクトル方程式を関連付けて考察することができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○位置ベクトル ・位置ベクトルの考え方を理解し、求める。 ・内分点・外分点の位置ベクトルを理解し、求める。 ・三角形の重心の位置ベクトルを理解し、求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○ベクトルの図形への応用 ・一直線上にある3点の条件について理解し、示したり、求めたりする。 ・内分点や外分点の考え方をを用いて、交点の位置ベクトルを求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○ベクトル方程式 ・媒介変数表示や方向ベクトルについて理解する。 ・ベクトル方程式が示す範囲を図形上に図示する。 ・法線ベクトルを理解する。 ・円のベクトル方程式を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

空間のベクトル

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。	ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見出したり、多面的に考察したりすることができる。	①事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○空間の座標、空間のベクトル ・空間座標において、軸や平面に関する対称を理解する。 ・2点間の距離を求める。 ・平面ベクトルと同様にベクトルの大きさや平行、分解、成分表示を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (2)	○ベクトルの内積 ・平面ベクトルと同様に空間ベクトルにおける内積やなす角を求める。 ・空間ベクトルの垂直条件を理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○位置ベクトルと空間の図形 ・平面ベクトルと同様に内分点や外分点の位置ベクトル、重心ベクトルを求める。 ・3点が一直線上にある条件や同じ平面上にある4点の条件を理解する。 ・球面の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

複素数平面

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 ②ド・モアブルの定理について理解している。	①複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりす	①事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(14)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○複素数平面 ・複素数の実部と虚部に対応した平面に点をとる。 ・共役な複素数について理解する。 ・複素数の絶対値について求める。 ・複素数の和、差、実数倍について図で理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (4)	○複素数の極形式 ・動径の大きさと偏角で定める極形式の表し方について理解する。 ・極形式で表された複素数の積、商について図で理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (3)	○ド・モアブルの定理 ・複素数 z について、ド・モアブルの定理を用いて、 z^n を求める。 ・ド・モアブルの定理を用いて、 n 乗根を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (4)	○複素数と図形 ・複素数で表された線分の内分点・外分点を求める。 ・複素数で表された円の方程式や垂直に等分線の式を理解する。 ・複素数で表された2本の線分のなす角を極形式を用いて求める。 ・複素数平面上にある3点の位置関係や3点を結んだ三角形の形状について調べる。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

数学

科目名：

数学C

1 単元名：

2次曲線

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
放物線，楕円，双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解している。	放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。	①事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○放物線 ・方程式 $f(x, y) = 0$ が表す図形について理解する。 ・放物線が焦点までの距離と準線までの距離が等しくなる点の軌跡であることを理解する。 ・放物線の標準形から焦点や準線を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
2 (3)	○楕円 ・楕円が2つの焦点からの距離の和が一定の点の軌跡であることを理解する。 ・楕円の標準形からグラフをかき、焦点や頂点、長軸の長さ、短軸の長さを求める。 ・円と楕円の関係について理解する。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
3 (2)	○双曲線 ・双曲線が2つの焦点からの距離の差が一定の点の軌跡であることを理解する。 ・双曲線の標準形からグラフをかき、焦点や頂点、漸近線を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り
4 (3)	○2次曲線の平行移動、2次曲線と直線 ・2次曲線を平行移動した式を求める。 ・平行移動によって、2次曲線の焦点や頂点、準線、漸近線なども変化することを理解する。 ・2次曲線と直線の共有点の座標や個数を求める。 ・2次曲線の接線の方程式を求める。 ・演習プリントや問題集を解く。 ・確認テストを行い、振り返りをする。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【思考・判断・表現】 ・問題演習 ・確認テスト、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度 ・ノートやプリントの確認 ・課題プリント、問題集 ・振り返り

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

平面運動と放物運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
平面運動と放物運動について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	平面運動と放物運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	平面運動と放物運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 平面運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 放物運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		<p>【知識・技能】</p> 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

剛体のつりあい

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
剛体のつりあいについて、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	剛体のつりあいについて、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	剛体のつりあいについて主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 剛体のつりあいについての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 剛体の重心とつりあいについての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

運動量の保存

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
放物運動と剛体にはたらく力について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	放物運動と剛体にはたらく力について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	放物運動と剛体にはたらく力に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量保存の法則についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・反発係数についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理基礎

1 単元名：

円運動と単振動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
円運動と単振動について、実験、観察を通して探求し、力のつりあい、運動の法則、摩擦をうける運動の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	円運動と単振動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	円運動と単振動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 円運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 慣性力と遠心力についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 単振動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 万有引力についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

気体の性質と分子運動

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気体の性質と分子運動について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	気体の性質と分子運動について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	気体の性質と分子運動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 気体の法則についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 気体の分子運動についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 気体の内部エネルギーと仕事についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

波の性質

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
波の性質について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	波の性質について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	波の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦波についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わり方についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

音波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	音波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	音波に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 音の伝わり方についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験</p>
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ドップラー効果についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○	○		<p>【知識・技能】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験</p>



度
通
す
う

む
集
験

問
定

問
定

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

光波

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
光波について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	光波について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	光波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> レンズと鏡についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 光の回折と干渉についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電場と電位

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電場と電位について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電場と電位について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電場と電位に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静電気力についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電場についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電位についての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンデンサーについての基本事項を学ぶ。 ・ 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電流

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電流について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電流に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 電流と抵抗についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 直流回路についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 半導体についての基本事項を学ぶ。 例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

物理

1 単元名：

電流と磁場

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、基本的な概念や原理・法則などを理解している。	電流と磁場について、実験、観察を通して探求し、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	電流と磁場に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・磁場についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 			○	【主体的に学習に取り組む態度】 ノートやプリント、問題集等の記述の確認、定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・電流がつくる磁場についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
3 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・電流が磁場から受ける力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ローレンツ力についての基本事項を学ぶ。 ・例題を用いて、基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 		○		【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

化学と人間生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間生活に関わる物質や化学について、化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学や物質について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学や物質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(2) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の確認。 ・ 人間生活の中の化学についての基本事項を学び、課題に取り組む。 		○		【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの記述 ・ 小テスト ・ 定期試験
2 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の確認。 ・ 化学とその役割についての基本事項を学び、課題に取り組む。 ・ 課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・ 振り返りシートにより化学と人間生活の学習を振り返る。 	○		○	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの記述 ・ 小テスト ・ 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題提出の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質の成分と構成元素

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質の成分について、分離方法や確認方法、物質の三態などを理解している。	物質の構成元素について、固有の性質や実験方法の特異性を見いだして思考し、表現している。	物質の成分や構成元素に主体的に関わり、実験に対して見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○物質の成分 ・物質の成分についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (1)	○物質の構成元素 ・物質の構成元素についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (2)	○状態変化と熱運動 ・状態変化と熱運動についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・振り返りシートにより物質の成分と厚生元素の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

原子の構造と元素の周期表

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質を構成している粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	物質の構成粒子について、規則性や関係性を見いだして思考し、表現している。	物質を構成する粒子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(5)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○原子の構造 ・原子の構造についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○元素の相互関係 ・元素の相互関係についての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・振り返りシートにより原子の構造と元素の周期表の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学結合

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学結合について、観察や実験などを通して探究し、物質と化学結合における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質の化学結合に主体的に関わり、物体や結晶に対する見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○イオン ・イオンについての基本事項を学ぶ。 ・基本事項をどう活用するか考える。 ・課題等に取り組みながら、ポイントを確認する。 ・確認テストを行う。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○イオン結合と組成式 ・静電気力（クーロン力）について説明し、結び付くことを理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (3)	○組成式の表し方 ・イオンの価数や組成式のつくり方を理解し、イオン結合からなる物質を組成式で表すことができる。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (1)	○イオン結晶とその性質 ・結晶の性質を一つ一つ確認し、ほかの物質との違いを理解する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
5 (2)	○共有結合の形成 ・価電子を共有することで、貴ガスの電子配置と似た、安定した形状になること理解する。 ○物質と化学結合の振り返り	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

物質と化学反応式

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質と化学反応式について、物質、化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質と化学反応式について、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	物質と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○原子量・分子量と式量 ・原子の相対質量の値を利用し、分子量や式量を求める。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (2)	○物質 ・物質の単位である「mol」を使い、個数や質量、体積を変換する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
3 (3)	○溶液の濃度 ・物質と体積を計算し、溶液の濃度を理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (2)	○化学変化と化学反応式 ・適切な係数を付け、化学変化を正しい化学反応式で表す。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
5 (3)	○化学反応の量的関係 ・化学反応式の係数を利用して、物質を算出する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
6 (1)	○化学変化における諸法則 ・質量保存の法則や定比例の法則などを理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学基礎

1 単元名：

酸と塩基の反応

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
酸と塩基について、酸性や塩基性といった性質や、酸と塩基の定義などを理解しているとともに、実験などに関する基本操作や結果から得られる考察などの技能を身に付けている。	酸と塩基について、実験などを通して探究し、物質の変化における酸と塩基の役割や反応時の関係性を見いだして表現している。	酸・塩基と化学反応式の学習に対して主体的に関わり、関連性を見出したり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	○酸と塩基 ・酸と塩基の定義を理解し、物質を分類する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (4)	○水素イオン濃度 ・水素イオン濃度を計算し、溶液のpHを求めることができる。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (3)	○中和と塩 ・溶液の濃度から、酸と塩基を中和する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (2)	○中和滴定 ・中和滴定の実験を通して、溶液の中和を理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 ・実験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認 ・実験レポートの確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

状態変化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 状態間の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 実験において、蒸気圧と沸騰の関係について考察することができる。	物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができる。 モデルで表現することができる。	物質の構造と融点・沸点の関係に関心をもち、それらを意欲的に探究しようとする。 状態間の平衡と粒子の熱運動に関心をもち、意欲的に探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(4)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○物質の構造と融点・沸点 ・物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○状態間の平衡と熱運動 ・蒸気圧について学習し、気体の圧力や沸騰が起こるしくみについて理解する。 ○状態変化の振り返り ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 ・実験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

固体の構造

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
それぞれの結晶構造について、基本的な知識を身につけている。 結晶とアモルファスの違いについて理解している。 実験において、アモルファスとしてのガラスの性質を観察、考察することができる。また、ガラスの加工技術を習得する。	結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。	結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 結晶とアモルファスの違いについて探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○結晶の構造 ・結晶の構造とその種類について理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (1)	○アモルファス ・結晶とアモルファスの違いについて理解する。 ○固体の構造の振り返り ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

溶液

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 溶解度の定義や法則を理解している。 沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。 コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身につけている。	溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて論理的に考えることができる。 溶解度について理解し、計算することができる。 沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 コロイド溶液の性質について、推論することができる。	物質の溶解の仕方と溶解度について関心をもち、探究しようとする。 溶液の性質に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心をもち、意欲的に探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○溶解 ・溶解のしくみについて確認する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○溶解度 ・物質が溶解する量には限界があり、それを溶解度とよぶことを理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (3)	○希薄溶液の性質 溶液の性質には、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧があることを理解する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験
4 (2)	○コロイド溶液 ・コロイド溶液と真の溶液の違いを理解する。また、実験などを通して、コロイド溶液の性質を理解する。 ○溶液の振り返り ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

化学反応と熱・光エネルギー

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピー変化で反応エンタルピーを表すことができる。</p> <p>化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。</p> <p>実験「ルミノール反応」において、化学発光を観察し、理解することができる。</p>	<p>化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。</p> <p>化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。</p>	<p>化学反応とエネルギーの関係について関心をもち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>○エネルギーの変換と保存</p> <p>化学反応において、反応の前後で物質がもつエネルギーの差がさまざまなエネルギーとして放出されることを理解する。</p>		○		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 定期試験
2 (4)	<p>○化学反応と熱エネルギー</p> <p>反応の前後で物質がもつエネルギーの差をエンタルピー変化で表すことができるようにする。また、ヘスの法則を理解する。</p>		○		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 定期試験
3 (1)	<p>○化学反応と光エネルギー</p> <p>化学反応において、光が関与する反応について理解する。</p>	○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 実験 定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

電池と電気分解

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
酸化還元反応から、電池と電気分解のしくみを確認することができる。 実験「鉛蓄電池」において、鉛蓄電池を作製し、充電・放電をくり返すことで二次電池を理解することができる。	電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。	化学反応とエネルギーの関係について関心をもち、電気エネルギーについて探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○電池 電池のしくみについて理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (2)	○電気分解 電気分解のしくみについて理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

反応の速さとしくみ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 実験「反応速度と濃度・温度の影響」において、濃度や温度の変化が反応速度にもたらす影響を観察し、考察することができる。	反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。	反応の速さに関する事象・現象に関心をもち、反応のしくみを探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(3)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○反応の速さ 化学反応には、速い反応と遅い反応があることを理解する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (1)	○反応速度を変える条件 反応速度を定量的に扱う。 反応速度に影響する条件について理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (1)	○反応のしくみ 反応のしくみについて理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

化学平衡

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 実験「酢酸の電離定数」において、酢酸水溶液のpHを測定することにより、濃度によらず電離定数が一定なることを理解することができる。	平衡の移動について論理的に説明することができる。 電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。	化学反応における可逆反応、化学平衡に興味をもち、その現象について探究しようとする。 化学平衡における移動、利用について探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(1 0)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○可逆反応と化学平衡 反応には可逆反応と不可逆反応があることを理解する。	○			【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
2 (3)	○化学平衡の移動 化学平衡について、反応速度の観点から考える。 化学平衡が移動する条件とそのしくみについて理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (5)	○電離平衡 電離平衡について学び、pHや塩の加水分解などのしくみを理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

周期表・非金属元素

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>周期表から各元素の性質と分類を確認することができる。 非金属元素の単体，化合物において，それぞれの物質の製法，性質，反応性について理解し，知識を身につけている。 実験において，ハロゲン単体の酸化力の大小関係や物質の製法や性質を確認することができる。</p>	<p>無機物質の性質を周期表と関連付けて説明することができる。 それぞれの非金属元素の単体，化合物において，その性質や反応を論理的に類推，考察することができる。</p>	<p>周期表における元素の配置に興味をもち，各元素の分類を探究しようとする。 それぞれの非金属元素の単体，化合物について関心をもち，その製法や性質，反応性について意欲的に探究しようとする。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(1 3)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	周期表における各元素の位置を確認する。	○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 定期試験 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出課題の確認
2 (11)	<p>水素の製法と性質について理解する。 貴ガスの性質について理解する。 ハロゲンの単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。 酸素・硫黄・窒素・リン・炭素・ケイ素の単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。</p>	○	○		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 実験 定期試験 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述 小テスト 定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

化学

1 単元名：

金属元素

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
金属元素の単体，化合物において，それぞれの物質の製法，性質，反応性について理解し，知識を身につけている。 実験において，リチウムやナトリウムと水との反応性の違い，それぞれのイオン特有の反応や反応性の違いによる種々のイオンの分離を確認することができる。	それぞれの金属元素の単体，化合物の性質や反応を論理的に類推，考察することができる。また，実験を通して判断することができる。	それぞれの金属元素の単体，化合物について関心をもち，その製法や性質，反応性について意欲的に探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(1 3)時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	アルカリ金属の単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。 アルカリ土類金属の単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。 1，2族以外の典型元素の単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (8)	遷移元素の単体と化合物について，その製法，性質，反応を理解する。 金属イオンの特有の反応について学び，金属イオンの分離方法を理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験

1 単元名：

有機化合物

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 酸素を含む脂肪族化合物や芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。 また、実験によって確かめられる。	アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 酸素を含む脂肪族化合物や芳香族化合物について、それぞれの物質がもつ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。	アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 酸素を含む脂肪族化合物や芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(2 2) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。 有機化合物の化学式を決めるための一連の手順を学ぶ。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認
2 (5)	アルカン、アルキン、アルケンの構造や一般式、性質、反応を知るとともに、異性体の存在を学ぶ。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
3 (7)	アルコール、エーテルについて、定義、分類、性質、反応を理解する。 アルデヒド、ケトンについて、定義、分類、性質、反応を理解する。 カルボン酸について、定義、分類、性質、反応を理解する。また、鏡像異性体についても理解する。 エステルについて、定義、分類、性質、反応を理解する。	○	○		【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・定期試験
4 (7)	ベンゼン環を基本骨格とする芳香族炭化水素は、脂肪族炭化水素とは異なる性質をもつことを理解する。 フェノール類、芳香族カルボン酸の性質、反応について理解する。 アニリンの製法、性質、反応を学び、また、アニリンからアゾ染料が合成されることを理解する。 有機化合物の混合溶液から、各化合物を分離する方法を理解する。	○		○	【知識・技能】 ・ワークシートの記述 ・小テスト ・実験 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名：

体内環境

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	○体内環境と体液の関係について理解する。 ○消化管や気管は体内にありながら、その内腔が外界との境界であることから体外環境として分類されることを理解する。 ○フィードバックによって、体内環境の恒常性が維持されていることを理解する。 ○情報伝達の経路には神経系・循環系・内分泌系があることを知る。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○体内環境と体液の関係について理解する。また、各体液の役割を理解する。 ○血液に関しては、血液循環そのものと心臓、血管といった循環系の構造と働きについて理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○酸素の運搬とヘモグロビンの役割を学び、生体内各所の酸素濃度との関係を理解する。 ○血液凝固の仕組みを理解する。また、血清、血ぺいについて整理する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (2)	○腎臓の構造や塩類濃度の調節のしくみを理解し、ろ過や再吸収といった働きを体系的に説明することができる。 ○腎臓を観察し、構造や働きを理解するとともに、扱う技能を習得している。 ○肝臓のしくみを肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。		○	○	【思考・判断・表現】 ・実験プリントの記述内容を確認 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物基礎

1. 単元名： 体内環境の維持のしくみ

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ○ヒトの体液濃度の調節には腎臓が関わるが、その腎臓の働きも自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ○神経系の分類と役割を知り、交感神経系と副交感神経系の拮抗的な働きを理解する。	○			【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
2 (2)	○内分泌腺と分泌されるホルモン、その作用について知り、ホルモンが受容されるしくみを理解する。 ○間脳の視床下部がホルモン分泌の中核として機能することを理解する。 ○ホルモンが細胞に受容され、機能するしくみについて理解を深める。 ○ホルモンの分泌量がフィードバックによって調節されていることを理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
3 (1)	○自律神経系と内分泌系の働きにより、血糖濃度の調節を一例として、体内環境が一定に保たれていることを理解する。		○		【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (1)	○血糖濃度の調節を学んだ上で、糖尿病の発症のメカニズムと症状について理解する。 ○健康なヒトと、糖尿病患者のグラフを見比べ、そこで知識をもとに、なぜそのようなグラフが描けるのかを考えていく。	○		○	【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・行動観察 ・提出課題の確認

1. 単元名：

免疫

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	免疫のはたらきについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3. 単元の指導と評価の計画

(12) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	○ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解する。 ○三段階の生体防御の概要を学び、どのような段階を踏むのかを理解する。	○			【知識・技能】 ・定期試験
2 (2)	○免疫応答の概要と、免疫にかかわる細胞や器官を説明できる。	○			【知識・技能】 ・定期試験
3 (3)	○自然免疫について扱い、体内への異物の侵入を防ぐ防御機構を理解する。また、その異物に対して、非特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○食作用や炎症について学び、具体的な現象を確認するとともに、自らの体験と照らし合わせて理解する。	○	○		【知識・技能】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
4 (3)	○獲得免疫について扱い、体内に侵入した異物に対して特異的に働く免疫のしくみを理解する。 ○同じ疾患に二度かかりにくい理由に気づき、その応用例を説明できる。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験
5 (2)	○免疫が医療に応用されていることを理解する。 ○免疫が過敏に働く疾患や免疫の機能が低下する疾患の仕組みを理解する。		○	○	【思考・判断・表現】 ・課題の記述内容を確認 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出課題の確認

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

生命の起源と細胞の進化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生命の誕生に関する仮説について理解している。	生命の起源と細胞の進化について、観察、実験や資料などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現している。	生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、科学的に探究し、生命を尊重している。

3 単元の指導と評価の計画

(3) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・生命の起源、および生物の進化の過程を地球環境の変化にも触れながら、その概要を理解する。	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認、実験プリントの確認、定期試験
2 (2)	・大気中の酸素濃度の変化を示す資料等に基づいて、シアノバクテリアの出現や真核生物の細胞内共生が大気組成の変化と関わりがあることに気づき、進化の過程を表現する。 ・生命の起源起源と進化について、学習した内容を振り返り、気付いたことを全体で振り返る。		○	○	【思考・判断・表現】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認、定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

遺伝子の変化と進化の仕組み

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
遺伝子の変化に関する資料に基づいて、突然変異と生物の形質の変化との関係を見いだして理解する。	進化の仕組みに関する観察、実験などを行い、遺伝子頻度の変化する要因を見いだして表現する。	遺伝子の変化と進化の仕組みに主体的に関わり、科学的に探究し、生命を尊重している。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・ヒトの一塩基置換と対応する変異に関する資料に基づいて、個体間の形質の違いが遺伝子の塩基配列の変化によって生じることを理解する。	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
2 (3)	・生物の交配実験の結果などの資料に基づいて、減数分裂と受精における遺伝子の組合せが変化を理解する。 ・遺伝子はそれぞれ特定の遺伝子座を占め、相同染色体上に一対存在することを理解した上で、演習により同じ染色体上にある二対の遺伝子について、親と異なる遺伝子の組合せをもつ染色体が子に伝わることに気付き、進化の過程を表現する。	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、問題集の記述内容の確認、定期試験
2 (4)	・進化の仕組みの概要を理解し、コイン等を用いたモデル実験により、遺伝子プール、自然選択、遺伝的浮動について理解を深める。 ・進化の仕組みを理解した上で、ハーディーワインベルクの法則や地理的隔離など自然界での進化の仕組みと考え方を理解する。	○	○		【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認、実験プリントの確認、定期試験 【思考・判断・表現】 実験プリントの確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

生物の系統と進化

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物の遺伝情報に関する資料に基づいて、生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 霊長類に関する資料に基づいて、人類の系統と進化を形態的特徴などと関連付けて理解する。	塩基配列やアミノ酸配列に関する資料に基づいて、生物種間の系統関係が塩基配列やアミノ酸配列によって推定できることに気づき、思考力・判断力・表現力を身に付ける。	生物の系統と進化の理解に主体的に関わり、科学的に探究し、生命を尊重している。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	・生物の遺伝情報に関する資料に基づいて、生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見だし、理解する。	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
2 (4)	・塩基配列やアミノ酸配列に関する資料に基づいて、生物種間の系統関係が塩基配列やアミノ酸配列によって推定できることに気づき、脊椎動物の系統樹を作成する。	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験 プリントの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

細胞と分子

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
理科の見方考え方を働かせ、生命現象と物質についての観察、実験などを通して細胞と分子及び代謝について理解させる。	生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、生命現象と物質についての特徴を見だし表現させる。	生命現象と物質の関係の理解に主体的に関わり、科学的に探究し、生命を尊重している。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	・生体物質と細胞に関する資料に基づいて、細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解する。	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
2 (4)	・生体膜の構造と働きについて、生体膜を構成するリン脂質は分子の中に親水性の部分と疎水性の部分が物質の透過性に関与していることを理解する。	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験 プリントの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

細胞と分子

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命現象とタンパク質に関する観察、実験などを行い、タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解する。	酵素に関する実験を行い、生命現象に酵素の働きがかかわっていることに気づき、思考力・判断力・表現力を身に付ける。	生命現象とタンパク質の関係の理解に主体的に関わり、科学的に探究し、生命を尊重している。

3 単元の指導と評価の計画

(9)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・タンパク質の機能を生命現象と関連付け、タンパク質が生命現象を担う主要な物質であることを理解する。	○		○	【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
2 (5)	・酵素に関する実験を行い、生命現象に酵素の働きがかかわっていることに気づき、酵素の機能がタンパク質の立体構造にかかわっていることを理解する。	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験
3 (2)	・タンパク質が細胞膜を介した物質の移動に働いていることを理解する。	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

代謝

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを理解している。	代謝についての観察、実験などを通して、実験・観察の技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。	生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	・代謝とエネルギーの関係を理解する。 ・代謝におけるATPや補酵素の役割を理解する。	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
2 (6)	呼吸によるATP合成の過程を理解する。 呼吸と発酵の違いを実験を通して理解し思考力・判断力・表現力を身に付ける。	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 実験プリント、演習問題の記述の確認、定期試験
3 (4)	・光合成による有機物合成の過程を理解する。 ・光合成と呼吸の共通点・相違点を実験を通して理解し思考力・判断力・表現力を身に付ける。	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 実験プリント、演習問題の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

遺伝情報とその発現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝情報にしたがって特定のタンパク質が合成され、形質が発現することの概要について理解する。 ・ DNAの構造や複製，遺伝暗号，DNAの遺伝情報に基づくタンパク質の合成や形質発現などのしくみを理解する。 ・ 真核生物では，スプライシングによって遺伝子の数よりはるかに多い種類のタンパク質が合成されることを理解する。 	<p>遺伝情報の発現と発生について観察、実験などを通して探究し、遺伝子発現の調節の特徴を見いだして思考力・判断力・表現力等を身に付けている。</p>	<p>遺伝情報とその発現について理解し探求しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(13)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヌクレオチド鎖の構造とその方向性について理解する。 ・真核生物の染色体の構造について理解する。 	○			<p>【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験</p>
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・メセルソンとスタールの実験結果とともに、DNAが半保存的複製に基づいて複製されていることを理解する。 ・遺伝子が転写・翻訳を経て発現するしくみを探求し、理解する。 	○	○		<p>【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】 探求プリント、演習問題の記述の確認、定期試験</p>
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子が転写・翻訳を経て発現するしくみを理解する。 ・原核生物と真核生物の遺伝子発現のしくみの違いを理解する。 	○		○	<p>【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析</p>
4 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の近くにある領域に結合する調節タンパク質によって遺伝子の発現が調節されることを理解する。 ・原核生物の遺伝子発現がどのように調節されているかを探求し、理解する。 	○	○		<p>【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】 探求プリント、演習問題の記述の確認、定期試験</p>

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

発生と遺伝子発現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・受精では、生殖細胞の合体によって染色体数が復元し、新しい体細胞のもとができることを理解する。 ・発生の過程では代表的な動物としてカエルを例にあげ、ヒトについても基本的なしくみは同じであることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発生のしくみについて、誘導現象を理解し、実験によってそのしくみが次第に明らかになってきた過程を探究的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 発生と遺伝子発現について探求し、理解しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の配偶子がどのようにつくられるか理解する。 ・受精のしくみとその過程を理解する。 	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・受精卵からからだがつくられる発生の過程の概要を理解する。 ・発生の過程における形態形成や器官分化の概要を理解する。 	○			【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認 定期試験
3 (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生の過程における細胞どうしのかかわりを理解する。 ・誘導によって細胞が分化するしくみがあることを理解する。 	○			【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、実験 プリントの記述の確認、定期試験
4 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・胚内の物質の局在が胚の各部の分化と関係していることを理解する。 ・発生の過程における分化を遺伝子発現の調節と関連づけて探求し、理解する。 	○	○		【知識・技能】 確認テストやプリント、演習問題の記述の確認、定期試験 【思考・判断・表現】 探求プリント、演習問題の記述の確認、定期試験

指導と評価の計画

教科名：

理科

科目名：

生物

1 単元名：

遺伝子を扱う技術

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・ 遺伝子組換えや組織培養、核移植、細胞融合などの技術が医療や有用物質の合成、作物の品種改良などに利用されていることを事例を通して理解する。</p>	<p>バイオテクノロジーの利用については様々な課題があり、その推進に当たっては十分な配慮が大切であることを探究的に考察する。</p>	<p>バイオテクノロジーについて、遺伝子操作が様々な分野で研究手法として用いられていることを興味関心を持って理解しようとしている。</p>

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (8)	<p>・ 遺伝子を扱う技術があり、利用されていることを理解する。</p> <p>・ 遺伝子を扱う技術の原理と方法を理解する。</p> <p>・ G F P 遺伝子の<i>E. coli</i>への導入の実験を行い遺伝子組換え技術を体験し、これまでの学習と関連付けて探究的に考察する。</p>	○	○		<p>【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認、実験プリントの記述の確認、定期試験</p> <p>【思考・判断・表現】 実験プリントの記述の確認、発表、定期試験</p>
2 (4)	<p>・ 遺伝子を扱う技術がどのように利用されているかを理解する。</p> <p>・ 遺伝子技術の有用性を理解する。</p>	○		○	<p>【知識・技能】 プリントの記述内容の確認、演習問題の記述の確認、定期試験</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析</p>

指導と評価の計画

教科名： 保健体育

科目名： 体育

1. 単元名：

ネット型：卓球

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることについて具体例をあげている。</p> <p>②競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを書き出している。</p>	<p>○技能</p> <p>①ボールを相手側のコートに守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。</p> <p>②チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。</p> <p>③仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p>	<p>①チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。</p> <p>②チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</p>
		<p>①一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。</p> <p>②危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。</p>

3. 単元（題材）の指導と評価の計画

(17)時間扱い

○「記録に残す評価」

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
学習の流れ（学習過程）	0	本時の説明、本時の目標、準備運動																	
	10	オリエンテーション	フォアハンドラリー	バックハンドラリー	ラリー（反復練習）						グループで課題解決練習								
	20				スマッシュサーブ	ゲーム（シングルス）				技能	知識		ゲーム（ダブルス）						
	30					ゲーム（シングルス）				ゲーム（ダブルス）		ゲーム（ダブルス）							
	40					ゲーム（シングルス）				ゲーム（ダブルス）		ゲーム（ダブルス）							
50	本時の振り返り、次回の連絡																		
60	本時の振り返り、次回の連絡																		
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	知・技	知			①○		②○				①●			②●					
		技		①○	②○	③○						①●	②●					③●	①●
	思・判・表					①○	②○								①●	②●			
主体的態度	①○	②○								①●	②●								

指導と評価の計画

教科名：

保健体育

科目名：

体育

1. 単元名：

体育理論

2. 単元の目標と評価規準

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったことについて具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p>	<p>①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実各科目の目標及び内容や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を伝えている。</p>	<p>①スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組もうとしている。</p>

3. 単元（題材）の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

時間		1	2	3	4	5	6	
学習の流れ (学習過程)	0	オリエンテーション	出席確認、健康観察、本時の説明					
	10		調べ学習					
	20		グループワーク					
	30		発表					
	40		振り返り、次回の目標					
指導・評価	観点	1	2	3	4	5	6	
	知・技	知	①○					①●
		技						
	思・判・表		①○			①●		
主体的態度	①○			①●				

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Lesson5					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な評価方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと	<p>[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。</p> <p>[技能] 将棋とチェスの由来について話されたり、書かれたりしたインタビュー記事を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。</p>	<p>将棋とチェスの由来について話されたり書かれたりしたインタビュー記事を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。</p>	<p>将棋とチェスの由来について話されたり書かれたりしたインタビュー記事を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。</p>	<p>ペーパーテスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>	
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] 水耕栽培の先駆者について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>将棋とチェスの由来について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。</p>	<p>将棋とチェスの由来について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>	
(発表) 話すこと	<p>[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。</p> <p>[技能] 将棋とチェスの由来について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>他の分野の歴史などについて調べ、その効果などについて論理的に伝える。</p>	<p>他の分野の歴史などについて調べ、その効果などについて論理的に伝えようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト</p>	
書くこと	<p>[知識] 情報を論理性に注意して、伝えるために必要となる語句や文等を理解して</p>	<p>他の分野の歴史などについて調べ、その生き方などについて論理的に</p>	<p>他の分野の歴史などについて調べ、その生き方などについて論理的に書いて</p>	<p>ペーパーテスト</p>	

指導と評価の計画

	いる。 [技能] 情報を論理性に注意して、書いて伝える技能を身に付けている。	書いて伝える。	伝えようとしている。	振り返りの記述 活動の観察
--	---	---------	------------	------------------

時間	主な学習活動	知	思	主
1～10	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の分野の歴史などについて対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 様々な分野の歴史などについて、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 様々な分野の歴史について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 様々な分野の歴史について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 			○
11～12	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 様々な分野の先駆者についての情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト (リスニングテストを含む) 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。 ● ポートフォリオ (振り返り) の記述から、学習への取組状況を評価します。 	○		○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2
Lesson 6					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読む 聞く	[知識] 文章を聞き取ったり読み取ったりするために必要となる語彙や表現を理解している。 [技能] 傘の歴史について話された英文を聞き取った	傘の歴史について話された英文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えている。	傘の歴史について話された英文を聞いたり、読んだりして概要や要点を捉えようとしている。		ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察

指導と評価の計画

	り、読み取ったりする技能を身に付けている。			察
(やり取り) 話すこと	[知識] 情報や考えを伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	傘の歴史について、情報や考えを話して伝え合っている。	傘の歴史について、情報や考えを話して伝え合おうとしている。	パフォーマンステスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 傘の歴史について、情報や考えを話して伝え合う技能を身に付けている。			
(発表) 話すこと	[知識] 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や文、音声等を理解している。	他のものの歴史を調べ、論理的に伝える。	他のものの歴史を調べ、論理的に伝えようとしている。	パフォーマンステスト
	[技能] 他のものについての歴史について、情報や考え、などを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。			
書くこと	[知識] 論理性に注意して、伝えるために必要となる語句や文等を理解している。	ものの歴史について、必要なことについて調べ、論理的に書いて伝える。	ものの歴史について、必要なことについて調べ、論理的に書いて伝えようとしている。	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察
	[技能] 情報を論理的に書いて伝える技能を身に付けている。			

時間	主な学習活動	知	思	主
1～10	<ul style="list-style-type: none"> ● ものの歴史について、必要なことに興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● ものの歴史について、教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● ものの歴史について、聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● ものの歴史について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 			○

指導と評価の計画

11～12	<ul style="list-style-type: none">● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 ものの歴史について考え、伝え合う。		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none">● ペーパーテスト（リスニングテストを含む） 初めて聞いたり読んだりする英文からも出題されます。● ポートフォリオ（振り返り）の記述から、学習への取組状況を評価します。	○		○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読む 聞く	<p>[知識] S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察</p>	
	<p>[技能] 動物の歯科医の仕事について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>				
(やり取り) 話す	<p>[知識] S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に英語を用いてコミュニケーションを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。</p>	<p>パフォーマンステスト ワークシートの記述 活動の観察</p>	
	<p>[技能] イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究の仕事について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>				

指導と評価の計画

(発表)	話す	<p>[知識] S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。</p>	パフォーマンステスト
	書く	<p>[知識] S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, S+V+O+C, 過去完了進行形, 受け身などの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, イグ・ノーベル賞を受賞した研究について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>イグ・ノーベル賞を受賞した研究について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 興味のある職業について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。</p>	ペーパーテスト 振り返りの記述 活動の観察

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1~15	<ul style="list-style-type: none"> 単元の問題に対する興味・関心を喚起するとともに, 単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり, 特定の部分の要点を捉えたりする。 イグ・ノーベル賞を受賞した研究について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解したり, 気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○	○	
16	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 興味のある職業についての情報や自分の考え, 気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 6 Where Does Halloween Come from?					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読む 聞く	<p>[知識]「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。</p> <p>[技能]日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、「追加」を表すディスコースマーカーの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述</p> <p>活動の観察</p>	
(5)取る 話す	<p>[知識]「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。</p> <p>[技能]日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what, 分詞構文などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、写真家の松本紀生さんの半生や作品について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>パフォー マンステ スト</p> <p>ワークシ ートの記 述</p> <p>活動の観 察</p>	
(発表) 話す	<p>[知識]「追加」を表すディスコースマーカーを理解している。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら</p>	<p>パフォー マンステ スト</p>	

指導と評価の計画

	<p>[技能] 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、「追加」を表すディスコースマーカナーなどの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>ら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	
書く	<p>[知識] 「追加」を表すディスコースマーカナーを用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、「追加」を表すディスコースマーカナーなどの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う</p>	<p>ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察</p>

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1～15	<ul style="list-style-type: none"> ● 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 ● 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 ● 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) ● 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○	○	
16	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 日本でのハロウィーンの様子やハロウィーンの起源と歴史の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4
Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World?					
	内容のまとめりごとの評価規準			主な 評価 方法	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読む 聞く	<p>[知識] 客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。</p> <p>[技能] 3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して聞いたり読んだりして伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>ペーパー テスト</p> <p>振り返りの記述 活動の観察</p>	
(さげ) 話す	<p>[知識] 客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。</p> <p>[技能] 3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別の理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	<p>パフォー マンステ スト</p> <p>ワークシ ートの記 述 活動の観 察</p>	
(発表) 話す	<p>[知識] 客観的な事実と筆者の意見の区別を理解している。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら</p>	<p>パフォー マンステ スト</p>	

指導と評価の計画

	<p>[技能] 3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りを続けている。</p>	<p>ら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>	
書く	<p>[知識] 「客観的な事実と筆者の意見の区別を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 3D プリント技術の使用例や今後の課題について、客観的な事実と筆者の意見の区別などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、3D プリント技術の使用例や今後の課題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>3D プリント技術の使用例や今後の課題について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、3D プリント技術の使用例や今後の課題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝えている。</p>	<p>英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う</p>	<p>ペーパー テスト 振り返りの記述 活動の観察</p>

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1～15	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に対する興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 教科書や関連する話題を扱った教材から必要な情報を得たり、特定の部分の要点を捉えたりする。 3Dプリント技術の使用例や今後の課題について聞いたり読んだりして必要な情報や要点を理解する。(言語活動) 3Dプリント技術の使用例や今後の課題について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。(言語活動) 	○	○	
16	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト【話すこと[やり取り]】 3Dプリント技術の使用例や今後の課題の情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合う。 		○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 5 “Will Our Lives Change with AI?”					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] AI 技術について、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] 印象深かった授業について、動名詞や、授業で行われている内容を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とともに即興で詳しく伝え合っている。</p>	<p>お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由とともに即興で詳しく伝え合おうとしている。</p>	活動の観察	
(発表) 話すこと	<p>[知識] 科学技術について、情報や自分の考え、気持ちを伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p> <p>[技能] 科学技術について、動名詞や科学技術でできることを表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書く技能を身に付けている。</p>		<p>読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して発表しようとしている。</p>	パフォーマンステスト	

指導と評価の計画

書く シート	[知識] 最新の AI 技術について情報を伝えるために必要となる表現の意味や働きを理解している。	読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いている。	読み手によく理解してもらえるように、贈り物について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書こうとしている。	ペーパー テスト 活動の観 察
	[技能] 最新の AI 技術について、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介する技能を身に付けている。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
1 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ● 印象深かった授業について会話をする。 ● 最新の AI 技術などについての会話を聞いて理解する。 ● 動名詞を使って表現する。 ● 最新の AI 技術について説明する文章を書く。 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科	外国語科	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
Lesson 6 “Experience Madagascar’s Wildlife”					
	内容のまとめりごとの評価規準				主な 評価 方法
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度		
・読むこと 聞くこと					
(やり取り) 話すこと	<p>[知識] 世界や日本で有名な場所について紹介するために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p>	<p>お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合っている。</p>	<p>お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。</p>	活動の観察	
	<p>[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や世界や日本で有名な場所を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う技能を身に付けている。</p>				
(発表) 話すこと	<p>[知識] 世界や日本で有名な場所について紹介するために必要となる表現の意味や働きを理解している。</p>	<p>聞き手によく理解してもらえるように、日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく発表している。</p>	<p>聞き手によく理解してもらえるように、日本の文化について、情報や自分の考え、気持ちを整理し、多様な語句や文を用いて詳しく発表しようとしている。</p>	パフォーマンステスト	
	<p>[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、詳しく発表する技能を身に付けている。</p>				

指導と評価の計画

書く シート	[知識] 世界や日本で有名な場所を表す表現を理解している。	読み手によく理解してもらえるように世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現を用いて、情報や自分の考え、気持ちを整理し、論理の構成や展開を工夫して詳しく書いている。	読み手によく理解してもらえるように世界や日本で有名な場所について、比較表現や世界や日本で有名な場所を表す表現を用いて、論理の構成や展開を工夫して詳しく書こうとしている。	ペーパー テスト 活動の観 察
	[技能] 世界や日本で有名な場所について、比較表現や日本文化を表す表現などを用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを書ける。			

記録に残す評価 (○)

時間	主な学習活動	知	思	主
13 ～ 24	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界や日本で有名な場所について会話をする。 ● 世界や日本で有名な場所を紹介する発表をする。 ● 比較表現を使って表現する。 ● 紹介する日本の文化についての情報などを加えて説明する。 	○		○
後 日	<ul style="list-style-type: none"> ● ペーパーテスト ● 日頃の取り組みに関する課題を提出する。 	○	○	○

活動状況を見取り、学習や指導に生かすための評価は毎時間行います。

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

家庭総合

1 単元名：

食生活をつくる

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食事・食生活についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	食事・食生活の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	食事・食生活の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	【食事摂取基準と食品群】 ・人体の栄養摂取量や食品群での食品摂取のめやすについて理解し食事を整えることについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (4)	【献立作成と食事】 ・日常生活の中で食事を整えるためのポイントについて、献立、調理、配膳についての基本を知り、家族や社会の中で食生活を豊かにすることについて理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名： 家庭

科目名： 家庭総合

1 単元名： 次世代をはぐくむ

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乳幼児についての知識・課題について理解し、解決する力を身に付けている。	乳幼児の課題について解決策を考え、表現することを身に付けている。	乳幼児の課題について、様々な人と協力して家庭や地域での生活の向上を図るために実践しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画 (16) 時間扱い ○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (5)	【子どもの発達】 ・命のはじまり、命への責任など大人の立場で理解し子どもを育てることについて考える。		○	○	【思考・判断・表現】 学習プリントへの記述、振り返りシートへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
2 (6)	【乳幼児の体の発達】 ・乳幼児の体の発達についての基本を知り、子どもの心身ともに健康な発育について理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
3 (5)	【乳幼児の心の発達】 ・乳幼児の心の発達についての基本を知り、子どもの心身ともに健康な発育について理解する。	○		○	【知識・技能】 学習プリントへの記述 【主体的に学習に取り組む態度】 活動観察、学習プリントの提出
4					
5					

1 単元名：

子どもの生活

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な用語や生活援助のための技術を身につけている	生活習慣を題材にした絵本を選ぶ活動などを通じ、生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的ななかかわり方などを考察し、工夫することができる。	保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(18)時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	・単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 【子どもの健康と生活】 ・子どもの生活習慣を題材にした絵本を選び、保育者としての具体的ななかかわり方を考察する。	○	○		【知識・技能】学習プリントの記入 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入
2 (6)	【子どもの食事】 ・子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につける。	○		○	【知識・技能】学習プリントの記入、調理実習 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、レポート提出
3 (4)	【子どもの衣服と寝具】 ・安全な衣生活について考え、適切な寝具やおむつの使い方などを理解する。		○	○	【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出
4 (4)	【子どもの健康と安全】 ・子どもの目線を体験する活動を通して安全性についての課題を見出し、子どもを危険から守るための具体的な方法を考察する。	○	○		【知識・技能】学習プリントの記入 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入

指導と評価の計画

教科名：

家庭

科目名：

保育基礎

1 単元名：

子どもの福祉

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 世界、日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考慮し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心を持ち、自分で情報を収集しようとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(6)時間扱い

○「記録に残す評価」

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、学習の見通しを持つ。 【保育にみる児童観】 日本の児童観の変遷と、社会環境や法制度のしくみについて理解する。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】学習プリントの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出
2 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 【児童福祉の理念と法規・制度】 児童福祉法や子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて調べ考察する。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 【思考・判断・表現】グループ活動、ワークシートの記入 【主体的に学習に取り組む態度】行動観察、学習プリントの提出

指導と評価の計画

教科名：

家庭

1 単元名：

子供

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現
乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	子供の健やかな発達のために親や家族及び地域の果たす役割の重要性について問題を見いだしを設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善察したことを根拠に基づいて論理的に表現する課題を解決する力を身に付けている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間

次	主な学習活動	知	思
1	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、単元を貫く課題に対する学習前の考えを記入する。 【子供の世界を知る】 子供のものごとの感じ方を理解し、子供との適切な関わり方を考える。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> 【子供の発達】 乳幼児の心身の発達の特徴について理解する。 	○	
3	<ul style="list-style-type: none"> 【子供の生活】 子供の遊びの重要性や生活習慣の形成、健康管理、安全管理について理解する。 	○	
4	<ul style="list-style-type: none"> 【子供の権利と福祉】 子供の権利と福祉、国や地域での支援について理解し、子供にとって適切な保育環境とはどのようなものか考える。 	○	○
5	<ul style="list-style-type: none"> 【単元のまとめ】 これまでの学習を踏まえて、【単元を貫く課題】に対する自分の考えと自己評価をワークシートに記入する。 		○

科目名： 家庭基礎

の生活と保育

	主体的に学習に取り組む態度
や社会 て課題 し、考 などし	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

及び 「記録に残す評価」

態	評価方法
	<ul style="list-style-type: none">・活動観察・ワークシート・定期テスト
	<ul style="list-style-type: none">・活動観察・ワークシート・定期テスト
	<ul style="list-style-type: none">・活動観察・ワークシート・定期テスト
<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート

単元の指導と評価の計画

教科名：

情報

科目名：

情報の表現と管理

1 単元名：

音による表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
音声および音楽データのと特性を理解できている。MIDI作成や音声編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	適切なデータ、ツールを選択し、目的に合わせ表現を工夫できている。	データ加工における素材集め、情報収集を積極的にこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、音による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【音の編集に関する実習】 ・MIDIで音楽を作成する。 ・コンピュータを利用し、MIDIによる音楽データを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「MIDI（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名：

情報

科目名：

情報の表現と管理

1 単元名：

静止画による表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デジタル画像の基礎と特性を理解できている。 画像作成・編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	適切なデータ、ツールを選択し、目的に合わせ表現を工夫できている。	データ加工における素材集め、情報収集を積極的におこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、静止画による表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【静止画による表現に関する実習】 ・画像編集ソフトやプログラミング利用し、画像を作成する手順を確認する。 ・コンピュータを利用し、画像データを作成する。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「画像製作（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

単元の指導と評価の計画

教科名：

情報

科目名：

情報の表現と管理

1 単元名：

データサイエンスとデータの表現

2 単元の目標と評価規準

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
データ分析の流れを理解できている。 画像作成・編集に用いるソフトウェアやデータの役割について理解できている。	例示データや実際のデータを集め、データ分析の流れに沿って処理目的に合わせて表現することができている。	公的データの入手方法を知り、情報収集を積極的におこなうことができている。課題の作成について、デジタルツールを積極的に使いながら、作業をすることができている。

3 単元の指導と評価の計画

(8)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (2)	・教科書やプリントを通して、データサイエンスとデータの表現についてのまとめを行う。	○			【知識・技術】 プリントの記述の確認
2 (6)	【データの表現に関する実習】 ・プログラミング利用し、データ分析する手順を確認する。 ・プログラミングを活用し、データの収集とデータ分析をおこなう。 ・振り返りシートにより単元の学習を振り返る。	○	○	○	【知識・技術】 プリントの記述の確認 【思考・判断・表現】 「データ分析レポート（デジタル）」 【主体的に学習に取り組む態度】 「振り返りシート」の記述の分析
後日	・定期テスト	○	○		【知識・技術】 定期テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト

1. 題材名： 三線にチャレンジ
A 表現 (2) 器楽 B 鑑賞 (1) 鑑賞 [共通事項] (1)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>三線や沖縄音楽に関する知識を身に付け、文化や歴史的背景との関わりを理解している。 【知識・器楽イ (ア)】</p> <p>「工工四」の読み方を理解し、三線の演奏に必要な運指や爪の使い方、楽器の構え方などの基礎的な技能を身に付け、特徴を活かして演奏している。 【技能・器楽ウ (ア)】</p>	<p>三線や沖縄音楽の特徴を捉えて三線の演奏を鑑賞し、楽器や曲の特徴を生かした表現ができるよう、個人で試行錯誤したり、他者と意見を交換しながら演奏の学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>三線の音色や沖縄音楽の特徴に興味を持ち、主体的・協働的に三線の演奏及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画 (10) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
	三線と沖縄音楽の歴史、楽器の特徴、各部の名称を知り、三線の演奏を鑑賞する。		○		【思考・判断・表現】 ワークシート
2 (3)	楽器の扱い方、構え方、工工四の読み方について知る。	○ 知			【知識・技能】 ワークシート
	左手の弦の押さえ方や右手の爪の動かし方について学習し、練習しながら工工四の読譜に慣れる。	○ 技			【知識・技能】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
3 (5)	「涙そうそう」の練習に取り組む。個人練習をし、ペアでアドバイスをし合う。		○		【思考・判断・表現】 活動観察
				○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
4 (1)	学習した用語、記号についての確認テストを受ける。	○ 知			【知識・技能】 確認テスト
	実技試験を受け、今まで学んだ知識や奏法などを演奏に活かすことができているか確認する。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
		○ 技			【知識・技能】 実技試験

グループ課題②

〔指導項目〕 (2) (3) (4)

1. 題材名：

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏における客観性と多様性について理解を深めている。 【知識】 理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けながら、他者と協働して演奏している。【技能】	音楽の様式を踏まえ、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだしている。	主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞している。

3. 題材の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1(2)	単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 グループごとの目標を設定し、表現活動の準備を行う。			○	【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート
2(10)	グループの課題曲を練習する。	○ 技	○		【知識・技能】 活動観察 【思考・判断・表現】 振り返りノート
3(2)	練習の成果を発表し、他のグループの演奏を鑑賞し、活動を振り返る。	○ 知技	○	○	【知識・技能】 発表、振り返りノート 【思考・判断・表現】 発表、振り返りノート 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りノート

指導と評価の計画

教科名：

(専)美術

科目名：

美術概論

1. 題材名：

ロゴマークのデザイン (ビジュアルデザイン)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 デザインとは何か、デザインをするとき大切なことは何かを理解し、生活を豊かにするデザインを考えている。</p> <p>技 アクリル絵の具や水彩色鉛筆を効果的に使い、創意工夫をして表現している。</p>	<p>発 社会に役立つ企業を考え、企業理念を踏まえ顧客に伝わるようなデザインを意識して主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 ロゴマークの目的や単純化した形の洗練された美しさを感じ取り、表現の意図や工夫などについて見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 主体的にビジュアルデザイン表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 ロゴマークの洗練された美しさを感じ取り、作者のデザインの意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の諸活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(10)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【鑑賞】 ・デザインの意味や種類について学び、制作の見通しをもつ。</p>	○知			<p>【知識・技能】 ・ワークシート</p>
2 (2)	<p>【発想・構想】 ・会社の役割を学び、社会に役立つ企業を考え、ロゴマークのデザインの構想を練る。</p>		○発		<p>【思考・判断・表現】 ・ワークシート</p>
3 (6)	<p>【制作】 ・完成したアイデアをイラストボードに下描きする。 ・アクリル絵の具、水彩色鉛筆などから自分の作品にあった画材を選択し着彩する。</p>	○技		○態表	<p>【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子</p>
4 (1)	<p>【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。</p>		○鑑	○態鑑	<p>【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子</p>

指導と評価の計画

教科名：

(専) 美術

科目名：

美術概論

1. 題材名：

パッケージデザイン (ビジュアルデザイン)

2. 題材の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色彩などの性質及びそれらが感情にもたらす効果などを理解している。</p> <p>技 材料や用具、表現方法の特性などから、意図に応じて表現方法を創意工夫して、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 使用するものの立場や社会のかかわりなどから主題を生成し、パッケージの機能と美しさなどとの調和を総合的に考え表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図について考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 主体的にビジュアルで財の表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の諸活動に取り組もうとしている。</p>

3. 題材の指導と評価の計画

(14) 時間扱い

○ 「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (1)	<p>【鑑賞】 ・デザイナーの作ったパッケージデザインを鑑賞し、制作の見通しをもつ。</p>	○ 知			<p>【知識・技能】 ・ワークシート</p>
2 (2)	<p>【発想・構想】 ・自分の考えた企業の企業理念を踏まえたオリジナルの商品を考え、魅力的なパッケージデザインの構想を練る。</p>		○ 発		<p>【思考・判断・表現】 ・ワークシート</p>
3 (4)	<p>【制作①】 ・展開図を用いてパッケージの形や内容を考え、方眼紙で試作をする。</p>	○ 技		○ 態表	<p>【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子</p>
4 (6)	<p>【制作②】 ・試作をもとに方眼ケント紙にデザインをトレースする。 ・アクリル絵の具で着彩し、組み立てる。</p>	○ 技		○ 態表	<p>【知識・技能】 ・作品 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子</p>
4 (1)	<p>【鑑賞】 ・完成した作品を相互鑑賞する。意見を交換しあい、感じたことや自分の考えをワークシートに記入する。</p>		○ 鑑	○ 態鑑	<p>【思考・判断・表現】 ・ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動の様子</p>

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な行政や金銭についての知識を深めている。	進路実現に向けて自らの意思や行動を見つめなおし、改善できている。	①授業に積極的に関わり、様々なことに興味をもつ。 ②働くことへの興味を広げ、卒業後の自分を意識できている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○進路に向けての意識 ・自己分析をする。 ・高校卒業後の進路について確認する。 ・福祉サービスの利用の流れについて理解する。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験
2 (5)	○お金の管理 ・収入の種類を理解する。 ・給料明細の内容を理解し、読み取る。 ・求人票について知り、必要な情報を読み取る。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

PC実技

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ドキュメントの機能を理解し、正しく利用している。	指定された方法で感じたことや考えたことを文章化しようとしている。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(11)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○作文 ・今年度の目標や社会見学の感想などを指定された形で作文する。 ・感じたこと、考えたことを文章にする。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。		○ ○ ○	○ ○	【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容
2 (7)	○文書作成 ・実技課題に取り組む。 ・必要に応じて、余白やヘッダー、フッター、フォントや文字サイズなどを調整する。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】 ・実技課題等 【思考・判断・表現】 ・実技課題等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

SSE（ソーシャルスキル教育）

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食と自身の健康などへの興味を広げると共に、ストレス解消方法や病院への行き方など卒業後の自立に向けてのイメージが意識できている。	卒業後の自立した生活面について、健康面から自分の課題を考え、改善する方法についても考えることができる。	①授業に積極的に関わり、様々なことに興味をもつ。 ②社会生活に必要な、衣食住についての知識を深めることができる。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (6)	○食事 ・健康につながる食事、3色の栄養素について知る。 ・外食の仕方について考える。 ・理想の1日の食事について考える。 ・テキストの事例を読んで、自分に置き換えて、対策を考える。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験
2 (6)	○健康と生活 ・家に備える救急用品について知る。 ・病院へ行くときの持ち物や注意点を知る。 ・自分のストレス解消法について考える。 ・テキストの事例を読んで、自分に置き換えて、対策を考える。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発言 ・定期試験 【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・授業内の発表等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容 ・定期試験

指導と評価の計画

教科名：

職業

科目名：

職業と生活Ⅲ

1 単元名：

PC実技

2 単元の目標と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ドキュメント、スプレッドシートの機能を理解し、正しく利用している。	指定された方法で感じたことや考えたことを文章化したり、的確に計算式の作成や表の作成等を行うとしている。	様々な作業や技能に対し興味を持って関わろうとしている。

3 単元の指導と評価の計画

(12)時間扱い

○「記録に残す評価」

次	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1 (4)	○作文 ・文化祭や球技大会の感想などを指定された形で作文する。 ・感じたこと、考えたことを文章にする。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。		○ ○	○ ○ ○	【思考・判断・表現】 ・プリントの記入内容 ・成果物等 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容
2 (8)	○実技演習 ・実技課題に取り組む。 ・必要に応じて、セルを結合したり、高さや幅、セル内の文字のフォントやサイズなどを調整する。 ・スプレッドシート上で四則演算や表、グラフの作成などを行う。 ・目標を確認する。 ・オアシスヨを唱和する。 ・振り返りを書く。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】 ・実技課題等 【思考・判断・表現】 ・実技課題等 ・定期試験 【主体的に学習に取り組む態度】 ・振り返りの記入内容